

142 ユダヤ教徒の中の愚かな者、そしてかれらに似通う偽善者たちは、ムスリムたちが過去の礼拝の方角であったエルサレムからそれが変更されたことについて尋ねる。預言者よ、答えるのだ。アッラーにこそ東西、そしてあらゆる方角が属していること、かれは望むがまま僕たちをどのような方向にでも導くということ。かれは望むがまま僕たちを正しい道に導き、そこには歪みや誤謬はない。

143 われらがあなたの方のために礼拝の方角を定めたと同じように、あなた方の信念、崇拜方法、社会活動において、善良かつ公正でバランスのとれた共同体であることを定めた。それにより、あなた方が復活の日、アッラーの預言者たちの証人となり、かれらがアッラーの命令通りにその教えを人々に伝達したことを証言するためである。また、預言者ムハンマドも、その教えをあなた方に伝達したことを証言する。そして誰がアッラーの法ではなく自らの欲望に従い、かれの宗教から背き去ったのかを示すためである。アッラーが信仰を授けた者、そして僕に授けられるものが何であれ、そこに潜む英知を確信する者たち以外にとって、礼拝の方角の変更は困難であった。アッラーは、礼拝の方角が変わる前にあなた方の捧げた祈りや善行、そしてアッラーに対する信仰を失わせることはない。アッラーは、人々に対して慈悲深く、重荷を課すことはない。かれらの行為に対する報奨は、決して失われることがないのだ。

144 預言者よ、あなたが礼拝の方角の変更についての啓示が下ることを期待し、天を仰ぐのをアッラーは見た。アッラーはあなたが現在向かう礼拝の方角ではなく、あなたが満足する方向、つまりアッラーの御殿へと、あなたが向かう方向を変える。それゆえ、あなたの顔をマッカにあるアッラーの御殿へと向けるのだ。信仰者たちよ、そこに向かって礼拝を行うのだ。ユダヤ教徒、キリスト教徒の啓典を授けられた者たちも、礼拝の方角の変化が、かれらの人生を司る創造主から明示された真理であることを心得ている。アッラーは、真理から背き去る者の行いについて無頓着ではない。栄光はかれにこそあり、すべてを認識しており、かれらの行為に基づいた報いを与えるのである。

145 たとえあなたが、聖書を与えられたユダヤ教徒とキリスト教徒にすべての印と証拠を与え、礼拝の方角の変更が真実であるということ伝えたとしても、かれらはあなたの礼拝の方角を向くことはなく、あなたの言うことに対して頑固で、真理に従うことに対して傲慢である。また、アッラーがあなたをそこから離れさせた後、あなたはかれらの礼拝の方角に向くことはないし、かれらは自らの礼拝の方角についても、お互いに向き合うことはない。なぜなら、それぞれの集団が別の不信仰者を呼び合い、礼拝の方角やその他の法律や裁定を軽視し、自らの欲望に従うからである。それは、全く疑念の余地がない、真の知識があなたに下されたにもかかわらずそうなのだ。あなたが導きから背き、かれらの欲望に従うならば、あなたは間違いなく不義者となる。

ここで、アッラーは預言者に対して直接、かれらに従うことがいかに間違っているかを示している。もちろん、アッラーはそうしたことから預言者たちを守ってきており、これはかれの追隨者たちに対する警告である。

本諸節の功德:

- アッラーの規定とかれの法を捨て去り、その重要性を無視することは、愚かさや意志の弱さの現れである。
- これらの諸節では、ムスリム共同体に与えられた美德と名誉が示されており、それはあらゆる共同体のなかでも、最も中庸で公正であるとアッラーは称える。
- 故意に真理から背き去った啓典の民の望みに従うことについて、信仰者たちは警告される。
- 礼拝の方角がエルサレムからマッカへと変更されたことから、啓示期間内にはある規定が変更される可能性があったことを示している。

سَيَقُولُ السُّفَهَاءُ مِنَ النَّاسِ مَا وَلَّيْتُمْ عَنْ قِبَلِهِمُ الَّذِي كَانُوا عَلَيْهِمْ قُلْ لِلَّهِ الْمَشْرِقُ وَالْمَغْرِبُ يَهْدِي مَنْ يَشَاءُ إِلَى صِرَاطٍ مُسْتَقِيمٍ ﴿١٤٦﴾ وَكَذَلِكَ جَعَلْنَاكُمْ أُمَّةً وَسَطًا لِتَكُونُوا شُهَدَاءَ عَلَى النَّاسِ وَيَكُونَ الرَّسُولُ عَلَيْكُمْ شَهِيدًا وَمَا جَعَلْنَا الْقِبْلَةَ الَّتِي كُنْتَ عَلَيْهَا إِلَّا لِنَعْلَمَ مَنْ يَتَّبِعُ الرَّسُولَ مِمَّنْ يَنْقَلِبُ عَلَى عَقْبَيْهِ وَإِنْ كَانَتْ لَكَبِيرَةً إِلَّا عَلَى الَّذِينَ هَدَى اللَّهُ وَمَا كَانَ اللَّهُ لِيُضِيعَ إِيمَانَكُمْ إِنَّ اللَّهَ بِالنَّاسِ لَرءُوفٌ رَحِيمٌ ﴿١٤٧﴾ قَدْ نَرَى تَقَلُّبَ وَجْهِكَ فِي السَّمَاءِ فَلَنُوَلِّيَنَّكَ قِبْلَةً تَرْضَاهَا فَوَلِّ وَجْهَكَ شَطْرَ الْمَسْجِدِ الْحَرَامِ وَحَيْثُ مَا كُنْتُمْ فَوَلُّوْا وُجُوهَكُمْ شَطْرَهُ وَإِنَّا لَآلِذِينَ أُوتُوا الْكِتَابَ لَيَعْلَمُونَ أَنَّهُ الْحَقُّ مِنْ رَبِّهِمْ وَمَا اللَّهُ بِغَافِلٍ عَمَّا يَعْمَلُونَ ﴿١٤٨﴾ وَلِئِن آتَيْتَ الَّذِينَ أُوتُوا الْكِتَابَ بِكُلِّ آيَةٍ مَا تَتَّبِعُوا قِبَلَتَكَ وَمَا أَنْتَ بِتَابِعٍ قِبَلَتِهِمْ وَمَا بَعْضُهُمْ بِتَابِعٍ قِبْلَةَ بَعْضٍ وَلِئِن آتَبَعْتَ أَهْوَاءَهُمْ مِنْ بَعْدِ مَا جَاءَكَ مِنَ الْعِلْمِ إِنَّكَ إِذًا لَمِنَ الظَّالِمِينَ ﴿١٤٩﴾

الَّذِينَ آتَيْنَاهُمُ الْكِتَابَ يَعْرِفُونَهُ كَمَا يَعْرِفُونَ آبَاءَهُمْ
 وَإِنَّ فَرِيقًا مِّنْهُمْ لَيَكْتُمُونَ الْحَقَّ وَهُمْ يَعْمُونَ ﴿١٤٦﴾ الْحَقُّ
 مِنْ رَبِّكَ فَلَا تَكُونَنَّ مِنَ الْمُمْتَرِينَ ﴿١٤٧﴾ وَلِكُلِّ وِجْهَةٍ
 هُومُؤَلِّيهَا فَاسْتَفِقُوا الْخَيْرَاتِ أَيْنَ مَا تَكُونُوا يَأْتِيكُمْ اللَّهُ
 جَمِيعًا إِنَّ اللَّهَ عَلَى كُلِّ شَيْءٍ قَدِيرٌ ﴿١٤٨﴾ وَمَنْ حَيْثُ خَرَجْتَ
 فَوَلِّ وِجْهَكَ شَطْرَ الْمَسْجِدِ الْحَرَامِ وَإِنَّهُ لِلْحَقِّ مِنْ رَبِّكَ
 وَمَا اللَّهُ بِغَفِيلٍ عَمَّا تَعْمَلُونَ ﴿١٤٩﴾ وَمَنْ حَيْثُ خَرَجْتَ فَوَلِّ
 وَجْهَكَ شَطْرَ الْمَسْجِدِ الْحَرَامِ وَحَيْثُ مَا كُنْتُمْ فَوَلُّوا
 وُجُوهَكُمْ شَطْرَهُ لِئَلَّا يَكُونَ لِلنَّاسِ عَلَيْكُمْ حُجَبَةٌ إِلَّا الَّذِينَ
 ظَلَمُوا مِنْهُمْ فَلَا تَخْشَوْهُمْ وَاخْشَوْنِي وَلَا تَمْرِنَعْمَتِي عَلَيْكُمْ
 وَعَلَّكُمْ تَهْتَدُونَ ﴿١٥٠﴾ كَمَا أَرْسَلْنَا فِيكُمْ رَسُولًا مِّنْكُمْ يَتْلُوا
 عَلَيْكُمْ آيَاتِنَا وَيُزَكِّيكُمْ وَيُعَلِّمُكُمُ الْكِتَابَ وَالْحِكْمَةَ
 وَيُعَلِّمُكُم مَّا لَمْ تَكُونُوا تَعْلَمُونَ ﴿١٥١﴾ فَاذْكُرُونِي أَنذُرَكُمْ
 وَأَشْكُرُوا لِي وَلَا تَكْفُرُونِ ﴿١٥٢﴾ يَا أَيُّهَا الَّذِينَ آمَنُوا
 اسْتَعِينُوا بِالصَّبْرِ وَالصَّلَاةِ إِنَّ اللَّهَ مَعَ الصَّابِرِينَ ﴿١٥٣﴾

の共同体よりも特別なものとし、あなた方を最も誉れある祈りの方角へと導いたのである。

〔146〕また、アッラーは別の方法でもあなた方を祝福した。かれはあなた方の中から使徒を遣わし、章句を朗誦し、美德と善良さを命じ、悪と過ちを禁じ、クルアーンとスンナを説き、あなた方が知らなかった宗教と現世について教えたのだ。

〔147〕それゆえ、あなた方の心と四肢をもって、アッラーを念じよ。アッラーはあなた方を念じて賛美と保護により報いる。また、アッラーがあなた方に与えた祝福に感謝し、拒否したり、禁じられた方法で恩知らずになったりしてはならない。

〔148〕アッラーを信仰し、使徒に従う者よ。美しき忍耐と、アッラーが命じたとおりに礼拝を確立することによって、すべてにおけるアッラーの助けを乞い求めよ。アッラーは忍耐強い者たちと共にあり、成功をもたらし、助けを与えてくださる。

本諸節の功德:

- 礼拝の方角の変更についての経緯と、預言者ムハンマドの預言における根拠について提示される。
- 信仰者は、不和を退け、アッラーの命令の遂行に勤しみ、アッラーの御許へと急がなければならない。それが審判の日において、主と共にありたい信仰者にとってはより良いことである。
- 人をアッラーへと近づける善行には様々なものがあり、信者は至高のアッラーからの報奨を求めてそれらの実践を競うべきである。
- アッラーを唱えることは立派なことで、報いとしてその信者のことを最高の天使たちが言及してくれる。

〔146〕アッラーが啓典を授けたユダヤ教徒とキリスト教徒の学者たちは、ムハンマドをかれら自身の子供たちを認識して他人と区別できると全く同じように認識することができた。それにもかかわらず、かれらの集団はそれが真実であることを完全に認識しつつも、妬みから、そのもたらされた真理を隠蔽した。

〔147〕預言者よ、これはあなたの主からの真理であり、あなたは真実を疑う者の一人ではないことを確信するのだ。

〔148〕あらゆる共同体には、物理的にも精神的にも、向かう方角がある。それゆえ礼拝の方角と法には違いがあるのだ。信仰者たちよ、アッラーの命令と法であれば、違う方角に向かっていても間違いではなく、あなた方は命じられたことについて互いに努力し合い、善行を尽くすのだ。審判の日、あなた方がどこにしようとも、アッラーは行いに応じて報いるために、あなた方を招集する。アッラーは全能である。あなた方の一人一人を招集し、報いることは、かれにとって難しいことではない。

〔149〕預言者よ、あなたはどこに行くときも、またどこに居ても、あなたとあなたの追従者たちが礼拝をするときは、聖マスジドを向きなさい。これは、あなたの主から啓示された真理である。アッラーはあなた方の行いについて無頓着ではない。むしろ、そのすべてを認識しており、あなた方はそれに応じた報いを受ける。

〔150〕預言者よ、あなたがどこに行くときも礼拝時は聖マスジドの方角を向くのだ。そして信者たちよ、あなた方がどこに居るときも、礼拝時はその方角を向くのだ。そうすれば、不義な者たち以外に、あなた方に議論する者はいない。かれらは頑迷さの中に留まり、最も悪い議論を仕掛ける。かれらを恐れてはならない。ただ、あなた方の主のみを恐れ、命令に従い、禁止から離れるがよい。アッラーがカアバを礼拝の方角としたのは、あなた方への恩寵を全うするためであり、だからこそあなた方を他のすべて

وَلَا تَقُولُوا لِمَنْ يُقْتَلُ فِي سَبِيلِ اللَّهِ أَمُوتَ بَلْ أَحْيَاءٌ وَلَكِنْ
 لَا تَشْعُرُونَ ﴿١٥٤﴾ وَلَنَبِّئَنَّاكُمْ بَشِيرًا مِّنَ الْخَوْفِ وَالْجُوعِ
 وَنَقْصٍ مِّنَ الْأَمْوَالِ وَالْأَنْفُسِ وَالثَّمَرَاتِ وَنَبِّئِ الصَّابِرِينَ ﴿١٥٥﴾
 الَّذِينَ إِذَا أَصَابَتْهُمُ مُصِيبَةٌ قَالُوا إِنَّا لِلَّهِ وَإِنَّا إِلَيْهِ رَاجِعُونَ
 ﴿١٥٦﴾ أُولَئِكَ عَلَيْهِمْ صَلَوَاتٌ مِّن رَّبِّهِمْ وَرَحْمَةٌ وَأُولَئِكَ
 هُمُ الْمُهْتَدُونَ ﴿١٥٧﴾ إِنَّ الصَّفَا وَالْمَرْوَةَ مِن شَعَائِرِ اللَّهِ
 فَمَنْ حَجَّ الْبَيْتَ أَوِ اعْتَمَرَ فَلَا جُنَاحَ عَلَيْهِ أَنْ يَطَّوَّفَ بِهِمَا
 وَمَنْ تَطَوَّعَ خَيْرًا فَإِنَّ اللَّهَ شَاكِرٌ عَلِيمٌ ﴿١٥٨﴾ إِنَّ الَّذِينَ
 يَكْفُرُونَ مَا أَنزَلْنَا مِنَ الْبَيِّنَاتِ وَالْهُدَىٰ مِنْ بَعْدِ مَا بَيَّنَّاهُ
 لِلنَّاسِ فِي الْكِتَابِ أُولَئِكَ يَلْعَنُهُمُ اللَّهُ وَيَلْعَنُهُمُ اللَّاعِنُونَ
 ﴿١٥٩﴾ إِلَّا الَّذِينَ تَابُوا وَأَصْلَحُوا وَبَيَّنُّوا فَأُولَئِكَ أَتُوبُ عَلَيْهِمْ
 وَأَنَا التَّوَّابُ الرَّحِيمُ ﴿١٦٠﴾ إِنَّ الَّذِينَ كَفَرُوا وَمَاتُوا وَهُمْ
 كُفَّارًا أُولَئِكَ عَلَيْهِمْ لعنةُ اللَّهِ وَالْمَلَائِكَةِ وَالنَّاسِ أَجْمَعِينَ
 ﴿١٦١﴾ خَالِدِينَ فِيهَا لَا يُخَفَّفُ عَنْهُمُ الْعَذَابُ وَلَا هُمْ يُنظَرُونَ ﴿١٦٢﴾
 وَإِلَهُكُمْ إِلَهُ وَاحِدٌ لَا إِلَهَ إِلَّا هُوَ الرَّحْمَنُ الرَّحِيمُ ﴿١٦٣﴾

المزّة

154 信仰者たちよ、アッラーの道において殺された者たちについて、他の死者と同様の言及をしてはならない。むしろ、かれらは主と一緒に生きているが、かれらの生きている方法についてはアッラーからの啓示を通してしか理解できないため、あなたがたはかれらが生きていることを認識しないのである。

155 アッラーはさまざまな種類の苦難を人々に課す。その中には、敵対する者への恐怖心、食糧不足による空腹、富の損失やそれを得ることの難しさに伴う貧困、人々を殺す病気や悲劇的な死による命の喪失、アッラーの道における殉教、または資源の不足などがある。預言者よ、それらの苦難に直面し忍耐する人々へ、現世と来世においてかれらを幸せにするものの吉報を伝えよ。

156 忍耐強き者とは、それらの苦難の一つに直面したとき、それを満足して受け入れながら、「私たちはアッラーの支配下にある。かれは望むがまま私たちを扱う御方であり、私たちは復活の日、かれの御許に戻る。またかれは私たちを創造し、多くの祝福をお与えになる。そして私たちは最終的にかれの御許に戻る。」と言う者たち。

157 これらの美德を持ち合わせる者は、天使たちが集う最高の集いにおいてアッラーによって讃えられ、慈悲に浴される。かれらこそ、真理の道に導かれた者たちである。

158 カアバに近いサファーとマルワとして知られている2つの丘は、明確な法の印である。ハッジ、またはウムラの巡礼を行うためにカアバに行く者は誰であれ、2つの丘間を歩いても咎められることはない。

これは、その行いがイスラーム以前の無明時代の名残りであり、受け入れられない行為かもしれないと丘間を歩くことを避けたムスリムたちに対しての、アッラーによる明示である。アッラーは、丘間を歩くことは巡礼における受け入れられた行為であることを明らかにしたのだ。誠実かつ自発的に、推奨された崇拜行為を行う者を、アッラーは認めて報いる。かれは誰が善行をし、報奨に値するのかわ知っている。

159 預言者とかれがもたらしたものの誠実さを明らかにする啓示を隠そうとするユダヤ教徒やキリスト教徒らは、われがかれらの啓典の中で人々のためにそうした啓示を明らかにしてもなお隠そうとする。こうした者たちは、アッラーがそのお慈悲から追放してしまわれ、そのために天使や預言者たち、人々に呪われてしまうのである。

160 ただし、それらの明瞭な印を隠蔽したことについて、アッラーに悔い改め、赦しを求め、裏表ともに行いを改め、隠蔽した真理と導きを明確にする者たちは例外である。アッラーはかれらの悔悟を受け入れる。赦しを求め、自らの過ちを後悔して、悔い改める者に対し、かれは情け深く向き合ってくださいのだ。

161 悔悟することなく不信仰のまま死んだ者は、アッラーの慈悲から除外されて咎められ、天使と人々も皆、かれらがアッラーの慈悲から除外されるように求める。

162 かれらは常に非難され、その懲罰は一日たりとも軽減されることはない。そして復活の日、時間の猶予を与えられることもない。

163 人々よ、崇拜におけるあなた方の真の対象は、その性質と本質において唯一なる御方。他に真の神はない。かれは広大な慈悲を持つ慈悲深き御方であり、被造物を思いやり、多大なる祝福で包み込んでくださるのである。

本諸節の功德:

- アッラーは人々に試練を課す。試練に対し、忍耐強い者たちには最高の報奨を授け、最高の地位を約束しておられる。
- 最も悪質な犯罪の一つであり、最大の厳罰が下されるのは、アッラーによる啓示を隠蔽し、預言者たちがもたらした導きから人々を惑わし、遠ざける行為である。
- これらの諸節では、ハッジまたはウムラの巡礼時、カアバを訪れる者が、サファーとマルワの間を歩くことは合法であることが確認されている。

إِنَّ فِي خَلْقِ السَّمَوَاتِ وَالْأَرْضِ وَأَخْتِلَافِ اللَّيْلِ وَالنَّهَارِ
 وَاللَّذَاتِ الَّتِي تَجْرِي فِي الْبَحْرِ بِمَا يَنْفَعُ النَّاسَ وَمَا أَنْزَلَ اللَّهُ
 مِنَ السَّمَاءِ مِنْ مَّاءٍ فَأَحْيَا بِهِ الْأَرْضَ بَعْدَ مَوْتِهَا وَبَثَّ فِيهَا
 مِنْ كُلِّ دَابَّةٍ وَتَصْرِيفِ الرِّيْحِ وَالسَّحَابِ الْمُسَخَّرِينَ
 السَّمَاءِ وَالْأَرْضِ لَآيَاتٍ لِقَوْمٍ يَعْقِلُونَ ﴿١٦٤﴾ وَمِنَ النَّاسِ
 مَنْ يَتَّخِذُ مِنْ دُونِ اللَّهِ أَنْدَادًا يُحِبُّونَهُمْ كَحُبِّ اللَّهِ وَالَّذِينَ
 ءَامَنُوا أَشَدُّ حُبًّا لِلَّهِ وَلَوْ يَرَى الَّذِينَ ظَلَمُوا إِذْ يَرَوْنَ
 الْعَذَابَ أَنَّ الْقُوَّةَ لِلَّهِ جَمِيعًا وَأَنَّ اللَّهَ شَدِيدُ الْعَذَابِ ﴿١٦٥﴾
 إِذْ تَبَرَّأَ الَّذِينَ اتَّبَعُوا مِنَ الَّذِينَ اتَّبَعُوا وَرَأَوْا الْعَذَابَ
 وَتَقَطَّعَتْ بِهِمُ الْأَسْبَابُ ﴿١٦٦﴾ وَقَالَ الَّذِينَ اتَّبَعُوا لَوْ أَنَّ
 لَنَا كَرَّةً فَنَتَبَرَّرَ مِنْهُمْ كَمَا تَبَرَّءُوا مِنَّا كَذَلِكَ يُرِيهِمُ اللَّهُ
 أَعْمَالَهُمْ حَسَرَاتٍ عَلَيْهِمْ وَمَا هُمْ بِخَارِجِينَ مِنَ النَّارِ ﴿١٦٧﴾
 يَا أَيُّهَا النَّاسُ كُلُوا مِمَّا فِي الْأَرْضِ حَلْالًا طَيِّبًا وَلَا تَتَّبِعُوا
 خُطُوَاتِ الشَّيْطَانِ إِنَّهُ لَكُمْ عَدُوٌّ مُبِينٌ ﴿١٦٨﴾ إِنَّمَا يَأْمُرُكُمْ
 بِالسُّوءِ وَالْفَحْشَاءِ وَأَنْ تَقُولُوا عَلَى اللَّهِ مَا لَا تَعْلَمُونَ ﴿١٦٩﴾

中、かれらは決して火獄から出ることはない。

﴿168﴾人々よ、地上の清浄で害悪のない肉や野菜、果実を食べるのだ。悪魔の行いとかれの邪悪な囁きに従ってはならない。かれはあなた方に敵対する、明確な敵である。知性ある者は、害を与えたり、欺いたりする敵には従わない。

﴿169﴾悪魔はただ、害悪、悪行、困難をもたらす不服従を命じ、アッラーへの信仰とその法について、アッラーとその預言者によってもたらされなかったことをあなた方に知識なく知らせる。

本諸節の功德:

- アッラーを真に信仰する者は、他のあらゆる被造物よりもかれを愛している。なぜなら、かれらは苦難においても安楽においてもかれに忠誠を示し、他の何者をも崇拝しないからである。
- 復活の日には、人間のすべての絆は壊れ、友人はお互いに離れ、アッラーのために築いた関係を除き、誰もが一人で立つこととなる。
- 悪魔による様々な方法を用いた策略に対する警告。

﴿164﴾天地の創造とその中の被造物の奇跡、夜と昼の交代、生と死の遷移、喜びと悲しみ、富と貧困、そして海水に浮かび、食物や衣服や人々が必要とするものに乗せて貿易のために航海する船。アッラーが降らせる水により、地表の農地と牧草地に生と共に作物を与え、生き物はその中に広がる。そして一方向から他方向に吹く風、また空と地球との間で制御される雲。これらは全て、証明と証拠を理解する者たちのための、唯一のアッラーによる明瞭な印である。

﴿165﴾これらの明確な印にもかかわらず、アッラーに他の神を同位者として並べ、アッラーを愛するかのようにそれらの神々を愛する者たちがいる。真の信仰を持つ者は、他の神々を崇める者たちがそれらの神々を愛するよりも、アッラーを愛する。信仰者たちは、困難においても、安楽においてもアッラーのみを愛しているが、かれら(不信仰者)は物事がうまくいくときだけ、神々を愛する。しかし物事がうまく行かなければ、嘆願する対象はアッラーのみである。

もし、アッラーに並べて他の神々を崇拝する者たちが、罪人たちの死後に待ち受ける懲罰を自らの目で見ることができたなら、すべての力がアッラーのみに属すること、そして頑迷に反逆する者への懲罰が、確実であることを悟っただろう。もしかれらがそれを見たなら、アッラーと並べ何者をも崇拝しなかっただろう。

﴿166﴾そして、不信仰のもと追隨されていた指導者たちは、復活の日の恐怖と苦難を見ると、かれらに従った弱者たちの存在を否定する。正に、かれらからはすべての絆と脱出の手段が切り離される。

﴿167﴾それら弱者たちと追隨した者たちは、こう言う。「もし私たちが現世に帰ることができたなら、私たちの指導者たちが私たちを否定したように、私たちもかれらを否定するでしょう。」アッラーは、来世における厳しい懲罰と、虚偽の指導者に従った結果を示す。後悔と悲しみの

وَاذْقِلْ لَهُمْ تَسْبِعُوا مَا أَنْزَلَ اللَّهُ قَالُوا بَلْ نَتَّبِعُ مَا آفَحَيْنَا
عَلَيْهِ ءَابَاءَنَا أَوْ لَوْ كَانَ ءَابَاؤُهُمْ لَا يَعْقِلُونَ شَيْئًا وَلَا
يَهْتَدُونَ ﴿١٧٦﴾ وَمَثَلُ الَّذِينَ كَفَرُوا كَمَثَلِ الَّذِي يَبْعُقُ
بِمَا لَا يَسْمَعُ إِلَّا دُعَاءَ وَنِدَاءَ صُمُّ بِكُمْ عَمَى فَهَمْ لَا يَعْقِلُونَ
شَيْئًا يَأْتِيهَا الَّذِينَ ءَامَنُوا كَلُومًا مِنْ طَيْبَتِ مَارَزَفَنُكُمْ
وَأَشْكُرُوا لِلَّهِ إِنْ كُنْتُمْ إِيَّاهُ تَعْبُدُونَ ﴿١٧٧﴾ إِنَّمَا حَرَّمَ
عَلَيْكُمْ الْمَيْتَةَ وَالْدَّمَ وَالْحَمَّ الْخَنِزِيرِ وَمَا أَهْلَ بِهِ لَعْنِ
اللَّهِ فَمَنْ أَضْطَرَّ غَيْرَ بَاعٍ وَلَا عَادٍ فَلَا إِثْمَ عَلَيْهِ إِنْ بَى اللَّهُ
عَفْوَرٌ رَحِيمٌ ﴿١٧٨﴾ إِنْ الَّذِينَ يَكْتُمُونَ مَا أَنْزَلَ اللَّهُ مِنْ
الْكِتَابِ وَيَشْتُرُونَ بِهِ ءَثْمًا قَلِيلًا أُولَئِكَ مَا يَأْكُلُونَ
فِي بُطُونِهِمْ إِلَّا النَّارَ وَلَا يُكَلِّمُهُمُ اللَّهُ يَوْمَ الْقِيَامَةِ
وَلَا يُزَكِّيهِمْ وَلَهُمْ عَذَابٌ أَلِيمٌ ﴿١٧٩﴾ أُولَئِكَ الَّذِينَ
أَشْتَرُوا الضَّلَالَةَ بِالْهُدَى وَالْعَذَابَ بِالْمَغْفِرَةِ فَمَا
أَصْبَرَهُمْ عَلَى النَّارِ ﴿١٨٠﴾ ذَلِكَ بِأَنَّ اللَّهَ نَزَلَ الْكِتَابَ بِالْحَقِّ
وَإِنَّ الَّذِينَ أَحْتَلَفُوا فِي الْكِتَابِ لَفِي شِقَاقٍ بَعِيدٍ ﴿١٨١﴾

170 これらの不信仰者は、アッラーが啓示した導きと光に従うように言われたら、かれらは頑迷に抵抗しながら、父祖が従った信念と習慣に従うと言う。かれらの父祖は導きや光を何も理解せず、アッラーが認める真理に導かれていなかったにもかかわらず、父祖に従うというのか。

171 父祖の道を頑迷に従う不信仰者たちを喩えると、かれらは叫び声を上げる羊のようである。羊は羊飼いの声を耳にはするが、言うことを理解はしない。かれらは自らを益する真理について聞くことができず、それを見ることもできないため、あなた方の呼びかける真理について理解しない。

172 アッラーを信じ、使徒に従う者よ。アッラーがあなた方に与え、許可した善きものを消費するのだ。そしてアッラーがあなた方に与えた多大なる祝福に対し、内からも外からもアッラーに感謝するのだ。かれに感謝することのひとつは、かれに逆らうことなく完全な献身によって行動することであり、真にかれのみを崇拜し、他の何者をも並べて崇拜しないことである。

173 アッラーが禁じたものはただ、屠殺と血抜きされることなく死んだものを食すること、また豚肉や、屠殺時にアッラーの名以外のものが唱えられたものを食することである。しかし、禁じられたものを食べることを余儀なくされ、必要でもないときに食するという罪を犯さず、また必要なものの制限を超えないのであれば、かれらは誤ってはならず、罰も受けないだろう。アッラーは寛容であり、誰であれ悔悟する者に対して慈悲深い。必要に迫られた時、禁じられたものを食べてもよいのは、かれのお慈悲である。

174 アッラーが啓典の中で明示したものや、ユダヤ教徒やキリスト教徒のように、権威や地位、金銭といった僅かな代償でムハンマドの真実と預言の印を隠蔽する者は、地獄の業火の中、苦しむことになる原因で胃を満たしているだけである。復活の日、アッラーはかれらの喜ぶような言葉でかれらに話しかけることはなく、かれらは悲嘆に暮れるようになることを聞くだけである。かれらは清められることも、称えられることもなく、痛ましい懲罰を受ける。

175 真理の知識を隠蔽する者たちは、逸脱を導きと引き換え、アッラーの赦しをかれの懲罰と引き換える者たちである。かれらは地獄の業火につながる行いに勤しみ、そこに含まれる苦しみを理解しないかのようである。

176 その報いは知識や導きを隠したことに對してあり、アッラーは天啓の書を真理とともに啓示されたため、公示されるべきであって、隠蔽されてはならないからである。天啓の書について言い争い、その一部を信じて別の一部を隠す者たちは、真理からほど遠く離散と論争の中にあるのだ。

本諸節の功德:

- 人々は自分の理性を使わないことから、しばしば間違った道を歩み、誰であれ思考することなく盲目的に従い、模倣する。
- もしかれらが心、聴覚、視覚といったアッラーの祝福からの恩寵を受けなければ、それはあたかもそれらの祝福を失った者であるかのようになる。
- 復活の日にも最も厳しい懲罰を受ける者の一部は、アッラーが啓示した知識と、使徒たちがもたらした導きを隠蔽する者たちである。
- 忠実な僕に対するアッラーの祝福は、いくつかの事柄の禁止と、多くの事柄の許可である。

* لَيْسَ الْبِرَّ أَنْ تُوَلُّوا وُجُوهَكُمْ قِبَلَ الْمَشْرِقِ وَالْمَغْرِبِ
 وَلَكِنَّ الْبِرَّ مَنْ ءَامَنَ بِاللَّهِ وَالْيَوْمِ الْآخِرِ وَالْمَلَائِكَةِ
 وَالْكِتَابِ وَالنَّبِيِّينَ وَءَاتَى الْمَالَ عَلَى حُبِّهِ ذَوِي الْقُرْبَىٰ وَالْيَتَامَىٰ
 وَالْمَسْكِينِ وَابْنَ السَّبِيلِ وَالسَّائِلِينَ وَفِي الرِّقَابِ وَأَقَامَ
 الصَّلَاةَ وَءَاتَى الزَّكَاةَ وَالْمُؤْفُونَ بِعَهْدِهِمْ إِذَا عَاهَدُوا
 وَالصَّادِقِينَ فِي الْبَأْسَاءِ وَالضَّرَّاءِ وَحِينَ الْبَأْسِ أُولَئِكَ الَّذِينَ
 صَدَقُوا وَأُولَئِكَ هُمُ الْمُتَّقُونَ ﴿١٧٧﴾ يٰٓأَيُّهَا الَّذِينَ ءَامَنُوا كُتِبَ
 عَلَيْكُمُ الْقَصَاصُ فِي الْقَتْلِ الْحَرْبِ وَالْعَبْدِ بِالْعَبْدِ وَالْأَنْثَىٰ
 بِالْأُنثَىٰ فَمَنْ عَفِيَ لَهُ مِنْ أَخِيهِ شَيْءٌ فَاتَّبِعْ بِالْمَعْرُوفِ وَأَدِّهِ
 إِلَيْهِ بِإِحْسَنٍ ذَلِكَ تَخْفِيفٌ مِّن رَّبِّكُمْ وَرَحْمَةٌ فَمَنْ أَعَدَّىٰ
 بَعْدَ ذَلِكَ فَهُوَ عَدَابٌ أَلِيمٌ ﴿١٧٨﴾ وَلَكُمْ فِي الْقِصَاصِ حَيٰوةٌ يٰٓأُولِي
 الْأَلْبَابِ لَعَلَّكُمْ تَتَّقُونَ ﴿١٧٩﴾ كُتِبَ عَلَيْكُمُ إِذَا حَضَرَ
 أَحَدَكُمُ الْمَوْتُ إِنْ تَرَكَ خَيْرًا الْوَصِيَّةُ لِلْوَالِدَيْنِ وَالْأَقْرَبِينَ
 بِالْمَعْرُوفِ حَقًّا عَلَى الْمُتَّقِينَ ﴿١٨٠﴾ فَمَنْ بَدَّلَهُ بَعْدَ مَا سَمِعَهُ
 فَإِنَّمَا إِثْمُهُ عَلَى الَّذِينَ يُبَدِّلُونَهُ إِنَّ اللَّهَ سَمِيعٌ عَلِيمٌ ﴿١٨١﴾

は、これを理解する。

﴿180﴾あなた方の死に際し、もし多額の富を残しているならば、両親と近親のための遺言による相続額は、法に従い3分の1以内である(富の残りは相続法に従い分配される)。これを実現させることは、アッラーを心に留めている者にとっての堅実な義務である。この規定は、相続についての諸節の前に啓示された。相続についての諸節が啓示されたとき、どの遺族が故人から相続すべきか、またかれらはどういった額を相続すべきかが明示された。

﴿181﴾誰であれ、その後遺言に何かを書き加えたり、削除したり、そこに何が含まれているのかを知らながらもそれを阻んだりするのなら、それを変えた者たちの罪となり、遺言を書いた者には罪はない。アッラーは、被造物の発言すべてを聴き、かれらの行いのすべてを知っている。そしてかれらの置かれた状況のすべての詳細を知り尽くしている。

本諸節の功德:

- アッラーが愛する従順な善行とは、完成された信仰と、良い行いにある。外面的な従順だけでは十分ではない。
- 生命を救い、犯罪と抑圧を止める最も有効な方法の一つが、アッラーによって定められた同害報復法の実践である。
- これらの諸節は、遺言の重要性を実証する。特に、親族に何かを残している者にとっては、故人の意志を変える者の罪が強調される。

﴿177﴾アッラーが満足する善行とは、東や西に顔を向けることや、それについて議論することではない。善行とは、唯一の神であるアッラーと、復活の日と、天使たちと、啓示されたすべての啓典と、すべての預言者たちを別け隔てなく信じることである。また、富を愛し、その価値を重視するにもかかわらず、親戚、孤児、貧しい人々、旅のために家族や祖国から離された見知らぬ者、そして誰であれ助けを求める者、それを必要とする者がいれば、それらの者たちに慈善的に差し出す者。また、奴隷や捕虜の解放の為に金を渡す者。アッラーの命令どおりに礼拝をする者、義務の喜捨であるザカートを差し出す者、約束を堅持する者。また、貧困、苦難、病気の際には忍耐し、そして戦時に逃亡しない者たち。それらの者たちは、アッラーの信仰と善行において忠実な者たちである。かれらこそは、アッラーの命令を意識する者たちであり、アッラーが禁じる物事から遠ざかる者たちである。

﴿178﴾アッラーを信じ、使徒に従う者よ。誰かが意図的に他者を攻撃し殺害した場合、殺人犯の懲罰は、その犯罪と同等の報復でなければならないと宣言された。自由人には自由人、奴隷には奴隷、女性には女性の同害報復である。被害者が死ぬ前に加害者を赦した場合、または被害者の後見人が血の対価(容赦の代償として加害者が支払う金額)の支払いを許した場合、許した者は公平な金額を求め、受け取った後は侮辱や報復をしないこと。そして加害者は、躊躇や遅延することなく、良き態度で対価を払うべきである。こうした赦しと血の対価の支払いを認めることにより、主はあなた方のために物事を容易にする。そして、これはムスリム共同体のためのお慈悲である。恩赦と血の対価を受け入れた後、加害者を攻撃する者には、アッラーによる痛ましい懲罰がある。

﴿179﴾アッラーが定めた同害報復法(キサース)の中には、生命がある。なぜならそれは、あなた方のさらなる応報と流血を防ぐからである。アッラーを心に留め、アッラーの法に従い、命令に基づいて行動する知性を持つ者たち

فَمَنْ خَافَ مِنْ مُوَسٍ جَنَفًا أَوْ إِثْمًا فَأَصْلَحَ بَيْنَهُمْ فَلَا إِثْمَ عَلَيْهِ إِنَّ اللَّهَ غَفُورٌ رَحِيمٌ ﴿١٨٦﴾ يَا أَيُّهَا الَّذِينَ آمَنُوا كُتِبَ عَلَيْكُمُ الصِّيَامُ كَمَا كُتِبَ عَلَى الَّذِينَ مِنْ قَبْلِكُمْ لَعَلَّكُمْ تَتَّقُونَ ﴿١٨٧﴾ أَيَّامًا مَعْدُودَاتٍ فَمَنْ كَانَ مِنْكُمْ مَرِيضًا أَوْ عَلَى سَفَرٍ فَعِدَّةٌ مِنْ أَيَّامٍ أُخَرَ وَعَلَى الَّذِينَ يُطِيقُونَهُ فِدْيَةٌ طَعَامُ مَسْكِينٍ فَمَنْ تَطَوَّعَ خَيْرًا فَهُوَ خَيْرٌ لَهُ وَإِنْ أَنْصَمُوا خَيْرٌ لَكُمْ إِنْ كُنْتُمْ تَعْمَلُونَ ﴿١٨٨﴾ شَهْرُ رَمَضَانَ الَّذِي أُنزِلَ فِيهِ الْقُرْآنُ هُدًى لِلنَّاسِ وَبَيِّنَاتٍ مِنَ الْهُدَى وَالْفُرْقَانِ فَمَنْ شَهِدَ مِنْكُمُ الشَّهْرَ فَلْيَصُمْهُ وَمَنْ كَانَ مَرِيضًا أَوْ عَلَى سَفَرٍ فَعِدَّةٌ مِنْ أَيَّامٍ أُخَرَ يُرِيدُ اللَّهُ بِكُمُ الْيُسْرَ وَلَا يُرِيدُ بِكُمُ الْعُسْرَ وَلِتُكْمِلُوا الْعِدَّةَ وَلِتُكَبِّرُوا اللَّهَ عَلَى مَا هَدَاكُمْ وَلَعَلَّكُمْ تَشْكُرُونَ ﴿١٨٩﴾ وَإِذَا سَأَلَكَ عِبَادِي عَنِّي فَإِنِّي قَرِيبٌ أُجِيبُ دَعْوَةَ الدَّاعِ إِذَا دَعَانِ فَلْيَسْتَجِيبُوا لِي وَلْيُؤْمِنُوا بِي لَعَلَّهُمْ يَرْشُدُونَ ﴿١٩٠﴾

182 遺言を残す人物の判断に誤りがあること、またはそこに不公平があることを知った者は、その人物に助言して誤りを是正し、それについて意見の相違がある者たちの間を和解させた場合、かれらは咎められず、むしろ、物事を正したことにより報奨を受ける。アッラーは、僕のうちの誰であれ、悔い改める者に寛容で慈悲深き御方。

183 アッラーを信仰し、預言者に従う者よ。アッラーはあなた方以前の者に命じたように、あなた方にも齋戒を命じた。それにより、あなた方がアッラーを意識し、善行を通して自らをかれの懲罰から守るようにするためである。齋戒は、善行の中でも特に素晴らしいもの。

184 あなた方は1年のうちの短い日数の間、齋戒を命じられた。しかし、あなた方のうち誰であれ、病気の者で、病気によって齋戒が困難であるか、または旅路にあるときは、齋戒をしなくともよい。しかし、他の日に同じ日数を齋戒することにより、これらの日を補わなければならない。また、齋戒ができるにもかかわらずそうしなかった者は、貧者にその日数分の食事を施すことによって償わなければならない。貧者一人以上に食事を施したり、食事の施しとともに齋戒をしりすることのほうがより良く、もしあなた方が齋戒の徳を知るのであれば、齋戒をしないこと、あるいは貧者に食事を施すよりも、齋戒をする方がより良い。これは齋戒に関するアッラーの規定のうち、最初のものであった。齋戒を望んだ者は齋戒をし、齋戒を望まない者はそれを許可され、代わりに貧しい者に食事を与えた。その後アッラーによって、すべての健全な成人に対して齋戒が義務とされた。

185 クルアーンは、ラマダーン月の「みいつの夜」に、初めて預言者ムハンマドに啓示された。アッラーは、その明確な導きの証拠、そして真実と虚偽の基準をもって、人々のための導きとしてそれを啓示した。ラマダーン月に入れば、健康体であれば誰でも齋戒をすることが求められる。病人、齋戒が困難な者、旅行している者は、誰でもあれ齋戒を解くことができる。もし齋戒をしなかった場合、別の時に逃した日数分をやり直さなければならない。アッラーがあなた方に対する定めにおいて望むことは、苦難ではなく、安楽である。そしてあなた方が、ラマダーンの定められた期間を完遂させた際、イードの日にあなた方の齋戒を助けたアッラーを讃えることを望む。それによってあなた方は、この教えに導かれたことを感謝するだろう。

186 預言者よ、かれらは尋ねる。アッラーがどれほど近いのか、また祈りに対して答えるのかどうかについて。アッラーはかれらの近くにあり、かれらについてのすべてを知っている。かれはかれらの祈りを聞き届けるが、仲介者の介入や、かれらが声を上げることすら必要としない。アッラーは、誠実に呼びかけ、祈る者に答える。それゆえ、かれらにはアッラーとかれの法に対して堅い信仰と共に従順であるよう告げよ。それこそが、祈りに対するアッラーの応答への最善の道なのである。そうすれば、かれらは世俗的にも宗教的にも正しく導かれる。

本諸節の功德:

- アッラーは、断食の月とし、クルアーンの啓示があった月とすることで、ラマダーン月を他の月よりも優れたものとした。それはクルアーンの月であり、そのため預言者(祝福と平安あれ)はラマダーン月にクルアーンをジブリールと共に学び、おさらいし、他の月よりも善行に励んだのであった。
- イスラーム法は、その原則と実践において、物事を容易にし、困難を除去するといった原則に基づいている。アッラーは、こうした人生の道を歩むことにおいて、私たちの物事を困難にはしなかった。
- これらの諸節は信仰者にとってのアッラーの近さ、アッラーが僕を包囲していること、そしてかれらのことをすべて知っており、祈りを聞き届け、かれらに答えるということ、僕たちに思い起こさせるものである。

أَحَلَّ لَكُمْ لَيْلَةَ الصِّيَامِ الرَّفَثُ إِلَى نِسَائِكُمْ هُنَّ لَبَاسُ لَكُمْ وَأَنْتُمْ لِبَاسٌ لَهُنَّ عَلِمَ اللَّهُ أَنَّكُمْ كُنْتُمْ تَخْتَانُونَ أَنْفُسَكُمْ فَتَابَ عَلَيْكُمْ وَعَفَا عَنْكُمْ فَالْقَنُ بِشُرُوهنَّ وَابْتَغُوا مَا كَتَبَ اللَّهُ لَكُمْ وَكُلُوا وَاشْرَبُوا حَتَّى يَتَبَيَّنَ لَكُمُ الْخَيْطُ الْأَبْيَضُ مِنَ الْخَيْطِ الْأَسْوَدِ مِنَ الْفَجْرِ ثُمَّ أَتُمُوا الصِّيَامَ إِلَى الْإِيلِ وَلَا تَبْشُرُوهُنَّ وَأَنْتُمْ عَاكِفُونَ فِي الْمَسَاجِدِ تِلْكَ حُدُودُ اللَّهِ فَلَا تَقْرُبُوهَا كَذَلِكَ يبينُ اللَّهُ آيَاتِهِ لِلنَّاسِ لَعَلَّهُمْ يَتَّقُونَ ﴿١٧٧﴾ وَلَا تَأْكُلُوا أَمْوَالَكُم بَيْنَكُم بِالْبَاطِلِ وَتُدْلُوا بِهَآ إِلَى الْحُكَّامِ لِتَأْكُلُوا فَرِيقًا مِّنْ أَمْوَالِ النَّاسِ بِالْإِثْمِ وَأَنْتُمْ تَعْلَمُونَ ﴿١٧٨﴾ * يَسْأَلُونَكَ عَنِ الْأَهْلِ قُلْ هِيَ مَوْقِفَاتٌ لِلنَّاسِ وَالْحَجُّ وَلَيْسَ الْبِرُّ بِأَنْ تَأْتُوا الْبُيُوتَ مِنْ ظُهُورِهَا وَلَكِنَّ الْبِرَّ مَنِ اتَّقَى وَأَتُوا الْبُيُوتَ مِنْ أَبْوَابِهَا وَأَتَفَوْا اللَّهَ لَعَلَّكُمْ تُفْلِحُونَ ﴿١٧٩﴾ وَقَلْتُمْ لَوْ فِي سَبِيلِ اللَّهِ الَّذِينَ يَقْتُلُونَكُمْ وَلَا تَعْتَدُوا إِنَّ اللَّهَ لَا يُحِبُّ الْمُعْتَدِينَ ﴿١٨٠﴾

①79 当初、男性が齋戒の夜に眠りにつき、夜明け前に目を覚まし、飲食や妻との性交をすることは許されていなかった。アッラーはこの規定を取りやめ、齋戒の夜に妻と性交することを許可した。

信仰者たちよ、彼女らはあなた方を保護し、純粋に保つ。あなた方はお互いを必要としている。アッラーは、あなた方が許されていないことを行うことによって、あなた方が自分自身を裏切ることを知っていた為、あなた方に慈悲と赦しを与え、物事を楽にしたのである。それゆえ、彼女らと交わり、アッラーが運命付けた子孫を求め、夜明けが近づくまでの間飲み食いするのだ。その後、夜明け前から日没まで、何も飲食することなく齋戒を完了させよ。あなた方がマシドの中で御籠りをするときは、妻と交わることは許されない。それは御籠りを無効にするからである。

これらが、アッラーの法における制限である。それは、許されたもの(ハラル)と禁じられたもの(ハラーム)の間にあるのだ。それゆえ、それに近づいてはならない。アッラーの法における制限に近づく者は、禁止された物事に近づいている。

そうした法の規定を明確に述べることにより、アッラーは人々に対して印を明示し、人々がかれを意識し、命令と禁止に従わせる。

①80 他者の富を不当に奪い合ってはならない。それを略奪したり、強奪したり、詐欺行為をしたりした後、それを法的な紛争にし、他者の財産を不正に得てはならない。あなた方は、アッラーがそれを禁じたことを知っているはずである。故意に罪を犯すことは、最悪の行いであり、最も重い懲罰に含まれる。

①81 使徒よ、かれらはあなたに尋ねる。新月とそれが変化する周期について。その背後にある英知について答えるがよい。それらは人々のための時間を測り、巡礼月や齋戒月、ザカートの支払いのための一年の完了など、崇拜行為をいつ行うべきか知らせる。また、それは支払い期

限、借金、血の対価の支払いのような、取引における時間枠を固定させよう。

あなた方がイスラーム以前の無明時代に主張していたように、あなたがハッジ巡礼、またはウムラ巡礼のためのイフラムを身に付けたまま、家の裏口から入るのは正義でも誠実でもない。むしろ、真の誠実さとは、誰であれ外面においても、内面においてもアッラーを意識していることである。それゆえ、正面の扉から家に入るべきなのは、あなた方にとってより簡単であり、煩わしさが少ないからである。アッラーはあなた方に苦勞を強いることはない。それは、あなた方が善行をしてアッラーの懲罰から身を守り、望むことを達成して、また恐れることから逃げて、成功を収めるためである。

①90 あなた方をアッラーの教えから離れさせるため、戦ってくる不信仰者たちに対しては、アッラーの言葉を称揚するために戦うのだ。ただし、子供、女性、高齢者を殺したり、死体を傷つけたりして、アッラーの法における制限を越えてはならない。アッラーは、かれが確立し、規定した制限を超える者を愛でられないのである。

本諸節の功德:

- 御籠り(イウティカーフ)は、崇拜行為を目的としてマシドに一定の期間、籠もることであり、そこでは女性との交わりを含む、イウティカーフの目的以外のことは一切行わない。
- これらの諸節は、他人の財産を不当に奪うことの禁止、及びそれにつながるあらゆる方法の禁止を示している。そこには賄賂なども含まれる。
- イスラームの教えは、正義と至善に基づいており、不正行為や制限を超えることは禁止されている。

الْحُجَّ أَشْهُرٌ مَّعْلُومَاتٌ فَمَنْ فَرَضَ فِيهِنَّ الْحُجَّ فَلَا
 رَفَثَ وَلَا فُسُوقَ وَلَا جِدَالَ فِي الْحُجِّ وَمَاتَعَلُوا مِنْ
 خَيْرٍ يَعْلَمُهُ اللَّهُ وَتَزَوَّدُوا فَإِنَّ خَيْرَ الزَّادِ التَّقْوَى
 وَاتَّقُونِ يَا أُولِيَ الْأَلْبَابِ ﴿١٩٧﴾ لَيْسَ عَلَيْكُمْ جُنَاحٌ
 أَنْ تَبْتَغُوا فَضْلًا مِنْ رَبِّكُمْ فَإِذَا أَفَضْتُمْ مِنْ
 عَرَفَاتٍ فَأَذْكُرُوا اللَّهَ عِنْدَ الْمَشْعَرِ الْحَرَامِ
 وَاذْكُرُوهُ كَمَا هَدَاكُمْ وَإِنْ كُنْتُمْ مِنْ قَبْلِهِ
 لَمِنَ الضَّالِّينَ ﴿١٩٨﴾ ثُمَّ أَفِيضُوا مِنْ حَيْثُ أَفَاضَ
 النَّاسُ وَاسْتَغْفِرُوا اللَّهَ إِنَّ اللَّهَ غَفُورٌ رَحِيمٌ ﴿١٩٩﴾
 فَإِذَا قَضَيْتُمْ مَنَاسِكَكُمْ فَأَذْكُرُوا اللَّهَ كَذِكْرِكُمْ
 آبَاءَكُمْ أَوْ أَشْدَّ ذِكْرًا فَمِنَ النَّاسِ مَنْ يَقُولُ
 رَبَّنَا آتِنَا فِي الدُّنْيَا وَمَا لَهُ فِي الْآخِرَةِ مِنْ خَلْقٍ
 ﴿٢٠٠﴾ وَمِنْهُمْ مَنْ يَقُولُ رَبَّنَا آتِنَا فِي الدُّنْيَا حَسَنَةً
 وَفِي الْآخِرَةِ حَسَنَةً وَقِنَا عَذَابَ النَّارِ ﴿٢٠١﴾ أُولَئِكَ
 لَهُمْ نَصِيبٌ مِمَّا كَسَبُوا وَاللَّهُ سَرِيعُ الْحِسَابِ ﴿٢٠٢﴾

巡礼はシャウワール月から始まり、ズル・ヒジヤ月10日に終わる、周知の期間である。誰でも、巡礼の義務を果たそうとするなら、一度イフラムの状態に入った後、性的関係やそれにつながることは禁止される。

それに加え、時と場所の不可侵性ゆえ、罪を犯すことによるアッラーへの反抗の禁止がここではさらに強調される。巡礼者は誰も怒らせたり喧嘩をしたりして争ってはならない。あなたが善行をするならば、アッラーはそれを知り、あなたに報いるだろう。

巡礼を行うために、飲食など十分な量の糧を蓄えるのだ。しかし最良の糧とは、常にアッラーを意識し続けることである。健全な心を持つ者たちよ、アッラーの命令を守り、禁止を避けることによってかれを意識せよ。

巡礼の間、商取引やその他の合法的な方法で糧を求めることは罪ではない。ズル・ヒジヤ月9日、アラファートで一日を過ごした後、そこを去るとき、そしてズル・ヒジヤ月10日の前日の夜にムズダリファに向かうときは、アッラーを賛美せよ。そしてムズダリファの地においてはアッラーへ祈り、念じよ。アッラーの道の教え、そしてかれの御殿への巡礼行為にあなたを導いてくれたことを覚えておくのだ。あなたは以前、アッラーの法を認識していなかったのだから。

それから預言者イブラーヒームがそうしていたようにアラファートを去るのだ。無知な者たちはアラファートに立ち寄らないが、そうしてはならない。巡礼行為におけるいかなる不備に対しても、かれの赦しを求めるのだ。アッラーは悔悟する僕たちに対し寛容であり、慈悲深い。

巡礼行為が完了すれば、あなたがあなたの祖先について自慢し、賛美するのと同じように、いや、それよりも頻繁にかれを思い起こし、賛美するのだ。なぜなら、あらゆる恩寵はかれによりもたらされるからである。

人々には相違があり、一部の者たちは現世の生活の

みを信じている不信仰な偶像崇拝者たちである。そのような者たちは健康、富、子孫といった形で現世での恵みをアッラーに祝福されるよう求めるだけであり、アッラーが忠実な僕たちのために来世で用意したものは何も受け取ることはない。これは、現世におけるかれらの欲望と、来世に対するかれらの無視のためである。

それでも、アッラーと来世に対して信仰を持つ者たちの集団があり、かれらは現世での祝福と善を成す能力を主に求め、天国へ入れられること、火獄の懲罰からの安全をかれに願う。

現世と来世での善きことのために祈る者たちは、その現世での善き行いに基づき、大いなる報酬を与えられよう。アッラーは迅速に清算される御方である。

本諸節の功德:

- 信者は現世と来世の旅の糧を準備しなければならない。そこでアッラーは最善の糧は、篤信であると言われた。
- 巡礼者たちは、巡礼の行事が完遂されるまでアッラーを思い起こさなければならない。
- 人々には異なる目的があり、一部は現世のみに関心を持ち、それ以外のことをアッラーに求めない。また一部は、現世と来世双方の善を求める。それこそが正しい道である。

*وَأَذْكُرُوا لِلَّهِ فِي أَيَّامٍ مَّعْدُودَاتٍ فَمَنْ تَعَجَّلَ فِي
 يَوْمَيْنِ فَلَا إِثْمَ عَلَيْهِ وَمَنْ تَأَخَّرَ فَلَا إِثْمَ عَلَيْهِ لِمَنِ
 اتَّقَىٰ وَأَتَّقُوا اللَّهَ وَعَلِمُوا أَنَّكُمْ إِلَيْهِ تُحْشَرُونَ ﴿٦٣﴾
 وَمِنَ النَّاسِ مَنْ يُعْجِبُكَ قَوْلُهُ فِي الْحَيَاةِ الدُّنْيَا
 وَيُشْهَدُ اللَّهَ عَلَىٰ مَا فِي قَلْبِهِ وَهُوَ أَلَدُّ الْخِصَامِ ﴿٦٤﴾
 وَإِذَا تَوَلَّىٰ سَعَىٰ فِي الْأَرْضِ لِيُفْسِدَ فِيهَا وَيُهْلِكَ الْحَرْثَ
 وَالنَّسْلَ وَاللَّهُ لَا يُحِبُّ الْفُسَادَ ﴿٦٥﴾ وَإِذْ قِيلَ لَهُ اتَّقِ اللَّهَ
 أَخَذَتْهُ الْعِزَّةُ بِالْإِثْمِ فَحَسْبُ لَهُ وَجَهَنَّمُ وَليْسَ
 أَلْمِهَادُ ﴿٦٦﴾ وَمِنَ النَّاسِ مَنْ يَشْرِي نَفْسَهُ أُتْبِعَاءَ
 مَرْضَاتِ اللَّهِ وَاللَّهُ رَءُوفٌ بِالْعِبَادِ ﴿٦٧﴾ يَا أَيُّهَا الَّذِينَ
 آمَنُوا ادْخُلُوا فِي السِّلْمِ كَافَّةً وَلَا تَتَّبِعُوا خُطُوَاتِ
 الشَّيْطَانِ إِنَّهُ لَكُمْ عَدُوٌّ مُّبِينٌ ﴿٦٨﴾ فَإِنْ زَلَلْتُمْ مِنْ بَعْدِ
 مَا جَاءَ نَكْمُ الْبَيْتِ فَاعْلَمُوا أَنَّ اللَّهَ عَزِيزٌ حَكِيمٌ ﴿٦٩﴾
 هَلْ يَنْظُرُونَ إِلَّا أَنْ يَأْتِيَهُمُ اللَّهُ فِي ظُلَلٍ مِنَ الْغَمَامِ
 وَالْمَلَائِكَةُ وَقُضِيَ الْأَمْرُ وَإِلَى اللَّهِ تُرْجَعُ الْأُمُورُ ﴿٧٠﴾

203 タクビール(「アッラーフ・アクバル」と言うこと)とタハリール(「ラー・イラーハ・イッラッラー」と言うこと)により、ズル・ヒジヤ月の11日、12日、13日にアッラーを思い起こすのだ。もし急用がある場合、ズル・ヒジヤ月12日の投石後、ミナーを去ったとしても、アッラーの許可により、罪はない。また、ズル・ヒジヤ月13日に投石のために留まったとしても、それは許容される。事実、それは預言者の行いであり、より良い行いとして推奨される。これはすべて、巡礼中にアッラーを意識し、アッラーの指示に従ってそれを実行する者に当てはまる。アッラーの指示を守り、禁じられた行為を避け、アッラーを意識せよ。あなた方はただ、**かれ**の御許に帰り、行為に応じて報われるのだ。

204 預言者よ、実際には偽善者である者が、現世に関する雄弁さから、あなたを感動させることがある。そしてその巧みな言葉ゆえ、あなたはかれが誠実であるとさえ感じる。しかし、かれの語りにおける唯一の目的は、かれの個人的かつ経済的利益を守ることである。かれは、自らの心に信仰と善意を持っていると主張し、アッラーに対し嘘の証言をする。だが、実際はムスリムへの大きな敵意と憎悪を抱いているのだ。

205 このような偽善者があなたから去るとき、度重なる罪を通して腐敗を引き起こそうと努力する。そして作物を荒らし、家畜を殺す。アッラーは地上における腐敗を愛されず、また腐敗を起こす者たちを愛されない。

206 この腐敗を起こす者が、定めを尊重し、禁じられた行為を避けてアッラーを意識するよう忠告されると、その誇りと傲慢さはかれの悔悟を妨げ、罪を犯し続ける。かれに相応しい報奨は地獄である。そこは、なんと酷い住処だろうか。

207 また、信仰者として、自らの魂を捧げて主に従おうとし、主の喜びを求め、主の道を歩もうと奮闘する者たちがいる。僕たちに対するアッラーの憐れみは広大であり、かれらは主より厚遇を受ける。

208 アッラーを信仰し、使徒に追従する者よ、あなたがイスラームの教えに完全に入り、啓典の民が啓典のある部分信じ、他の部分信じなかったように、そのいかなる部分も省いてはならない。悪魔の道に従ってはならない。かれがあなた方の敵であることは公然だからである。

209 明証があなた方に伝わった後で、道を踏み外したり、迷ったりするのなら、アッラーはその能力と御力において強大であり、その計画と法の確立において英知に満ちていることを知れ。**かれ**を畏れ、賛美するのだ。

210 真理の道を迎えるのではなく、悪魔の道を迎える者たちは、復活の日、アッラーがかれらのもとの雲の影より現れるのをただ待っているだけである。そして天使たちにより、あらゆる方角から包囲される。そのとき、アッラーはかれらのあらゆる諸事を一斉に裁かれる。ただアッラーの御許にのみ、被造物のすべての事柄は帰結するのである。

本諸節の功德:

- 真の誠実さとは、ただ多くの善行を積みばいという訳ではなく、それはアッラーの法に追従することを意味する。
- 人々は容姿や発言によって判断されるのではなく、心のあり方を示す行為によって判断される。
- 地上で腐敗を引き起こすことは、傲慢な者たちの共通の特徴である。アッラーは腐敗や、腐敗を引き起こす者を好まれない。
- 人は、完全にイスラームの生き方を内面的にも、そして外面的にも受け入れない限り、本当に全能者であるアッラーに服従しているとは言えない。

سَلِّ بِنِي إِسْرَائِيلَ كَمَا آتَيْنَاهُمْ مِنْ آيَاتِنَا بَيِّنَاتٍ وَمَنْ يَبْدُلْ نِعْمَةَ اللَّهِ مِنْ بَعْدِ مَا جَاءَتْهُ فَإِنَّ اللَّهَ شَدِيدُ الْعِقَابِ ﴿٣١﴾ زُيِّنَ لِلَّذِينَ كَفَرُوا الْحَيَاةَ الدُّنْيَا وَيَسْخَرُونَ مِنَ الَّذِينَ آمَنُوا وَالَّذِينَ اتَّقَوْا فَوْقَهُمْ يَوْمَ الْقِيَامَةِ وَاللَّهُ يَرْزُقُ مَنْ يَشَاءُ بِغَيْرِ حِسَابٍ ﴿٣٢﴾ كَانَ النَّاسُ أُمَّةً وَاحِدَةً فَبَعَثَ اللَّهُ النَّبِيِّينَ مُبَشِّرِينَ وَمُنذِرِينَ وَأَنْزَلَ مَعَهُمُ الْكِتَابَ بِالْحَقِّ لِيَحْكُمَ بَيْنَ النَّاسِ فِي مَا اخْتَلَفُوا فِيهِ وَمَا اخْتَلَفَ فِيهِ إِلَّا الَّذِينَ أُوتُوهُ مِنْ بَعْدِ مَا جَاءَتْهُمْ الْبَيِّنَاتُ بَغْيًا بَيْنَهُمْ فَهَدَى اللَّهُ الَّذِينَ آمَنُوا لِمَا اخْتَلَفُوا فِيهِ مِنَ الْحَقِّ بِإِذْنِهِ وَاللَّهُ يَهْدِي مَنْ يَشَاءُ إِلَى صِرَاطٍ مُسْتَقِيمٍ ﴿٣٣﴾ أَمْ حَسِبْتُمْ أَنْ تُدْخَلُوا الْجَنَّةَ وَلَمَّا يَأْتِكُمْ مَثَلُ الَّذِينَ خَلَوْا مِنْ قَبْلِكُمْ مَسَّتْهُمُ الْبَأْسَاءُ وَالضَّرَاءُ وَزُلُّوا حَتَّى يَقُولَ الرَّسُولُ وَالَّذِينَ آمَنُوا مَعَهُ مَتَى نَصُرَ اللَّهُ أَلَا إِنَّ نَصْرَ اللَّهِ قَرِيبٌ ﴿٣٤﴾ يَسْأَلُونَكَ مَاذَا يُنْفِقُونَ قُلْ مَا أَنْفَقْتُمْ مِنْ خَيْرٍ فَلِلَّهِ وَالَّذِينَ آمَنُوا وَلِلسَّيِّئِ وَاللَّهُ يَدْعُ عَلَى كُلِّ

219 預言者よ、使徒たちの真実性を証明する明確なるしが、アッラーによっていくつ与えられたかについて、ユダヤ人たちに尋ねよ。それにもかかわらず、かれらは信じてることなく、使徒たちから背き去った。誰であれ、アッラーの恩寵を認識し、それが明示された後で、それを不信仰と否定に変えるなら、アッラーは不信仰者と否定者に厳重な懲罰を与えるのである。

220 アッラーを信じない者たちにとって、世俗的な生活とその一時的な喜びや享樂は、綺羅びやかに映るようになされた。かれらはアッラーと最後の日を信仰する者たちを嘲る。アッラーの命令を果たし、禁止を避けることによってアッラーを意識する者たちは、来世ではアッラーによって樂園に住まわされ、そのような者たちの上にいる。

221 人々は、元々ひとつの共同体であった。悪魔がかれらを誤って導くまで、全員が協調し、父祖アダムの道を歩んでいた。かれらはそれから信仰者と不信仰者に分裂した。それゆえ、アッラーは使徒たちを遣わし、アッラーへの信仰を持ち、アッラーに従う者たちのため、アッラーの慈悲についての吉報をもたらし、そしてアッラーの厳しい懲罰について不信仰者たちに警告した。また使徒たちと共に、疑いなき真理を含む諸啓典も下し、それによって人々の見解の相違についてあなた方が判決を下せるようにした。それがアッラーによる明証であったにもかかわらず、それに対して相違したのは、律法の知識を授けられたユダヤ教徒たちだけであった。かれらは不義を犯した。そしてアッラーは、その許可と意志により、信仰者が真理と虚偽を識別出来るようにした。アッラーは誰であれ、信仰の道である正道を求める者を導く。

222 あなた方信仰者は、過去の者たちが受けたような試練に直面することなく天国に入れるとでも思っているのか。かれらはひどい病氣と貧困に苦しみ、アッラーの助けを可能な限り速やかに受けたいと思うほど恐ろしい出来事に震え、信仰者たちは使徒と共に「アッラーからの

の助けはいつ来るのか」と願っていた。アッラーの助けは、かれを信じて頼る信仰者たちにとっては近い。

223 預言者よ、あなたの教友たちは、かれらが自分たちの富から何を使うべきか、そしてどこに配分すべきかをあなたに尋ねる。こう答えるのだ。あなたが使うどのような合法的かつ純粋な富であれ、両親、困っている親戚、貧しい孤児、富を持たない貧しい者たち、またその家族と家から切り離された旅行者に与えられるべきである。アッラーは、それがいかに小さなものであっても、あなた方が信仰者として行う善をすべて知っている。何もかれからは隠されることはなく、かれはそれによりあなた方に報奨を与えてくださる。

本諸節の功德:

- アッラーの恩恵に感謝せず、その恩恵をかれへの奉仕として使わないことは、損失を招き、困難の源となる。
- アッラーは、一神教を信仰する天性という自然な道をもとに人間を創造した。悪魔とその援助者たちが、その自然な道を、偶像崇拜へと変えた。
- 失敗につながる最大の損失とは、共同体がその啓典と法について相違し、お互いを呪い、お互いに不信仰者として宣言し始めるときである。
- 人々が何を異にし、どう正しい道を認めるかについての真理への導きは、アッラーの手中にのみある。かれを信じ、服従することにより、かれからそれを求めることが可能となる。
- アッラーはその慣わしとして、忠実な僕たちに対し、信仰の度合いと主への依存度に基づいて、試練を与える。
- 災難の際、忍耐強さを助けるであろう最大のものは、誠実な者たちの先例に倣うことである。

كُتِبَ عَلَيْكُمُ الْقِتَالُ وَهُوَ كُرْهٌ لَّكُمْ وَعَسَى أَنْ تَكْرَهُوا شَيْئًا وَهُوَ خَيْرٌ لَّكُمْ وَعَسَى أَنْ تُحِبُّوا شَيْئًا وَهُوَ شَرٌّ لَّكُمْ وَاللَّهُ يَعْلَمُ وَأَنْتُمْ لَا تَعْلَمُونَ ﴿٣٦﴾ يَسْأَلُونَكَ عَنِ الشَّهْرِ الْحَرَامِ قِتَالٍ فِيهِ قُلْ قِتَالٌ فِيهِ كَبِيرٌ وَصَدُّ عَنْ سَبِيلِ اللَّهِ وَكَفْرٌ بِهِ وَالْمَسْجِدِ الْحَرَامِ وَإِخْرَاجُ أَهْلِهِ مِنْهُ أَكْبَرُ عِنْدَ اللَّهِ وَالْفِتْنَةُ أَكْبَرُ مِنَ الْقَتْلِ وَلَا يَزَالُونَ يَقْتُلُونَكُمْ حَتَّى يَرُدُّوكُمْ عَنْ دِينِكُمْ إِنِ اسْتَطَعُوا وَمَنْ يَرْتَدِدْ مِنْكُمْ عَنْ دِينِهِ فِيمْتٌ وَهُوَ كَافِرٌ فَأُولَئِكَ حَبِطَتْ أَعْمَالُهُمْ فِي الدُّنْيَا وَالْآخِرَةِ وَأُولَئِكَ أَصْحَابُ النَّارِ هُمْ فِيهَا خَالِدُونَ ﴿٣٧﴾ إِنَّ الَّذِينَ ءَامَنُوا وَالَّذِينَ هَاجَرُوا وَجَاهَدُوا فِي سَبِيلِ اللَّهِ أُولَئِكَ يَرْجُونَ رَحْمَتَ اللَّهِ وَاللَّهُ غَفُورٌ رَحِيمٌ ﴿٣٨﴾ * يَسْأَلُونَكَ عَنِ الْخَمْرِ وَالْمَيْسِرِ قُلْ فِيهِمَا إِثْمٌ كَبِيرٌ وَمَنْفَعٌ لِلنَّاسِ وَإِثْمُهُمَا أَكْبَرُ مِنْ نَفْعِهِمَا وَيَسْأَلُونَكَ مَاذَا يُنْفِقُونَ قُلِ الْعَفْوَ كَذَلِكَ يُبَيِّنُ اللَّهُ لَكُمْ الْآيَاتِ لَعَلَّكُمْ تَتَفَكَّرُونَ ﴿٣٩﴾

الجزء الثاني

①16 信仰者たちよ、アッラーの道における戦闘は、生命と財産を失う危険が伴う行為であることから、自我が自然に嫌うものであるが、それはあなた方に義務付けられたものである。あなた方は、それを嫌悪するかもしれないが、実際には善い、有益なものである。その一例が、アッラーの道における戦闘である。それは大きな報奨に加え、敵の敗北、そしてアッラーの御言葉の称揚をもたらす。

その一方で、戦闘を遅延させたりするような、実際には悪くて有害なものをあなた方は好むかもしれない。これは、あなた方が敗北し、敵が権威を得ることにつながるのだ。アッラーは善いこととそうでないことをよく知っている。それゆえ、かれによる、あなた方にふさわしい指示に従うのだ。

①17 預言者よ、ズル・カアダ、ズル・ヒジヤ、ムハラム、ラジャブの聖月における戦いに関する法について、人々はあなたに尋ねる。かれらに言うのだ。これらの月に戦うことは、アッラーの道を阻む偶像崇拜者たちが決して承認されないのと同様に、アッラーの御前において重大な罪であり、忌むべき行為である。信仰者を聖マズドから遮断し、またはそこから人々を排除することは、アッラーの御前では、聖月における戦闘よりも悪いことである。

かれらによる偶像崇拜は、殺害よりも悪い。偶像崇拜者たちは可能な限り、あなた方が真実の道からかれらの偽りの道へと従うようになるまで、あなた方と戦い、その抑圧を続けようとする。誰かがアッラーの道而去り、アッラーを信じずに死んだならば、かれの善行は皆無にされ、来世においては地獄の炎のなかに永久に住まうのだ。

①18 アッラーとその使徒への信仰を持ち、アッラーとその使徒のために移住し、自らの家を後にし、アッラーの御言葉を称揚するために闘う者たちは、アッラーの慈悲と赦しを切望する者たちである。アッラーは僕たちの罪を赦し、かれらに慈悲深い。

①19 預言者よ、あなたの教友はハムル(理性を損なうか、人を酔わせる飲料を指す)を飲むこと、売ること、買うことの法的側面に関して、あなたに尋ねる。かれらはまた、賭け事についても尋ねる。かれらに答えて言うのだ。それら双方には共に、知性と富の喪失、そして憎しみや敵意の増長といった、多くの精神的・物質的な害を持つ。その一方、賭けの勝者に対する経済的な報酬など、いくつかの利点はある。しかし、それらから生じる害と罪は利益から得るものよりも大きい。それゆえ、理性を持つ者はそのような行動を避けるべきである。

アッラーによるこの言及は、ハムル禁止の基礎を築くものである。

預言者よ、かれらはまた、慈善として費やすべき額について、あなたに尋ねる。かれらに答えて言うのだ。「あなたが必要としない分、そして容易なものから何でも費やすのだ。」(当初、これが慈善に関する規定であったが、後にアッラーは義務のザカートを定めた。それは、ある一定期間に特定の富を所有していた場合、そこから一定量の支払いを求めるものである。)このような明確な説明をもって、アッラーはあなた方が熟考できるよう、イスラームの法を説明する。

本諸節の功德:

- 物事の最終的な結果がわからないと、人は自分に利益をもたらすものを嫌い、自分を傷つけるものを好むこともあるため、人はアッラーに正しい道に導くように頼まなければならない。
- イスラームは善を保持し、それに対するいかなる違反も禁じるためにもたらされた。最も悪い形の違反とは、人々をアッラーの道から妨げることである。
- 不信仰者は、ムスリムが信仰を放棄するまで、可能な限りイスラームとムスリムの敵であり続ける。アッラーこそは不信仰者の企みをもろくする御方なのである。
- アッラーへの信仰、かれゆえの移住、そしてかれへの道を歩むことは、アッラーの慈悲と赦しを得るための最も効果的な手段である。
- イスラームの法は、人々の公益を考慮し、そこにいくらかの利益があっても、害が利益に勝る場合はそれを禁じている。

فِي الدُّنْيَا وَالْآخِرَةِ وَيَسْأَلُونَكَ عَنِ الْبَيْتِ لِمَ قُلْنَا إِصْلَاحٌ لَهُمْ خَيْرٌ وَإِنْ تُخَاطَبُوا فِي الطُّهُومِ فَأَحْوَانُكُمْ وَاللَّهُ يَعْلَمُ الْمُفْسِدَ مِنَ الْمُصْلِحِ وَلَوْ شَاءَ اللَّهُ لَأَعْنَتَكُمْ إِنْ أَرَادَ اللَّهُ بِشَيْءٍ حَكِيمٌ ﴿٣١﴾ وَلَا تَنْكِحُوا الْمُشْرِكِينَ حَتَّى يُؤْمِنُوا وَلَا أُمَّةٌ مُؤْمِنَةٌ خَيْرٌ مِنْ مُشْرِكَةٍ وَلَا تُعْجِبُكُمْ وَلَا تُنْكَحُوا الْمُشْرِكِينَ حَتَّى يُؤْمِنُوا وَلَعَبْدٌ مُؤْمِنٌ خَيْرٌ مِنْ مُشْرِكٍ وَلَا يُعْجِبُكُمْ أُولَئِكَ يَدْعُونَ إِلَى النَّارِ وَاللَّهُ يَدْعُو إِلَى الْجَنَّةِ وَالْمَغْفِرَةِ بِإِذْنِهِ وَيُبَيِّنُ آيَاتِهِ لِلنَّاسِ لَعَلَّهُمْ يَتَذَكَّرُونَ ﴿٣٢﴾ وَيَسْأَلُونَكَ عَنِ الْمَحِيضِ قُلْ هُوَ أذى فَأَعْتَزَلُوا النَّسَاءَ فِي الْمَحِيضِ وَلَا تَقْرُبُوهُنَّ حَتَّى يَطْهُرْنَ فَإِذَا تَطَهَّرْنَ فَأْتُوهُنَّ مِنْ حَيْثُ أَمَرَكُمُ اللَّهُ إِنَّ اللَّهَ يُحِبُّ التَّوَّابِينَ وَيُحِبُّ الْمُتَطَهِّرِينَ ﴿٣٣﴾ سَأَأْتِيكُمْ خَبْرٌ لَكُمْ فَأْتُوا حُرَّتْكُمْ أَنَّى شِئْتُمْ وَقَدِّمُوا لِأَنْفُسِكُمْ وَاتَّقُوا اللَّهَ وَعَلِمُوا أَنَّكُمْ مُلَاقُوهُ وَبَشِّرِ الْمُؤْمِنِينَ ﴿٣٤﴾ وَلَا تَجْعَلُوا لِلَّهِ عَرْضَةً لِأَيَّمَنْ لَكُمْ أَنْ تَبْرُوا وَتَتَّقُوا وَتَصِلُوا بَيْنَ النَّاسِ وَاللَّهُ سَمِيعٌ عَلِيمٌ ﴿٣٥﴾

③① アッラーがこれらの規定を定めたのは、現世と来世において、何が利益をもたらすかについて、あなた方が考慮するためである。預言者よ、あなたの教友たちはあなたに孤児の後見人とかれらへの処遇についてあなたに尋ねる。かれらは衣食などの費用として、かれら自身の財産と孤児のそれを合わせてもよいのか尋ねる。かれらに答えて言うのだ。あなた方が見返りに何も取らず、そしてかれらの財産に触れることなく、かれらの諸事を調整することによって親切にするならば、それはアッラーの御前においてより良く、より大きな報奨となる。なぜならそれによってかれらの全財産は保護され、かれらにとってはより良いからである。しかし、生活費のために、あなた方が自身の資産とかれらの財産を合わせても害はない。かれらは信仰におけるあなた方の兄弟であり、兄弟たちが互いの面倒を見て世話をするのは当たり前である。アッラーは、孤児と自身の財産を合わせることによって害悪をもたらす後見人と、善をもたらす後見人のことをよく知っている。もしかれが、孤児に関してあなた方に困難を望んでいるのであれば、そうしたであろう。しかしその代わりに、イスラームの法は容易さに基づいており、かれはあなた方によるかれらへの対処を容易とした。アッラーは全能であり、何もかれを圧倒することはできない。かれは計画と実行において賢明であられる。

③② 信仰者たちよ、アッラーに同位者を配する女たちとは、彼女らがアッラーのみを信じ、イスラームの道に入るまでは結婚してはならない。たとえあなた方がその女の美しさと富に感銘を受けようとも、アッラーと使徒を信じる奴隷の女たちの方が、偶像を崇拝する自由な女たちよりも優れているのだ。

偶像崇拝者である男と、ムスリムの女を結婚させてはならない。たとえあなた方がその男に感銘を受けようとも、アッラーと使徒を信じる奴隷の男たちの方が、偶像を崇拝する自由な男たちよりも優れているのだ。

偶像崇拝の罪を犯す男女は、自らの言動によって、地獄の業火につながる悪行へと招いているのだ。そしてアッラーは、樂園につながる善行へと引き、その御意思に

よって寛大に罪を赦す。アッラーは人々が素直に学び行動できるよう、その章句を明確にするのである。

③③ 預言者よ、あなたの教友たちは月経(特定の時期に起きる、女性の子宮からの定期的な出血)についてあなたに尋ねる。それらに答えて言うのだ。月経は男女にとって有害であるため、この間は性交を避けよ。女の出血が止まり、入浴後に清浄になるまで、彼女らに性交目的で近づいてはならない。もし血が止まり、彼女らが身を清めたならば、あなたはアッラーが許した方法、つまり膣性交によって彼女らと交わってもよい。アッラーは頻繁に罪から悔悟し、不浄さからよく身を清める者たちを愛するのだ。

③④ あなた方の妻は、あなた方が種を蒔く所である。彼女らは耕地が作物を生産するように、あなた方の子供を産む。それゆえ、耕地である陸に近づくときは、どの方向からでも、またどのような方法でも、それが膣性交である限りは、あなた方が望む形で交わってよい。アッラーへより親密になることを意図し、または敬虔な子孫を望んで性交し、自分たちにとって有益なものを残すのだ。女に関する事項において、アッラーの指示を守り、禁止事項を避けることによってアッラーを意識せよ。復活の日、あなた方はかれに会い、各々の行為に対する報いを受けるため、かれの御前に立たなければならないことを知るのだ。預言者よ、信仰者たちに対し、かれらが確かに喜ぶことになる、かれの祝福された御顔を目にする永久なる祝福の吉報を伝えよ。

③⑤ アッラーの名における誓いを、善行や敬虔な行い、または人々の間の仲裁ができなかった言い訳としてはならない。しかし、もしあなた方が善行をしないと誓ったのであれば、善行によってその宣誓を償うのだ。アッラーはあなた方の陳述を聞き届け、あなた方の行動を熟知して報いる。

本諸節の功德:

- ムスリムと偶像崇拝者の結婚は、信仰と偶像崇拝との間の隔たりにより禁じられる。
- これらの諸節では、婚姻契約において後見人が必要であることが示されている。アッラーは女性の後見人に対し、彼女らを偶像崇拝者に嫁がせることを禁じている。
- 月経中の女性との性交は、女性が清浄になり入浴を済ますまで禁じられている。しかし、性交以外の親密な行為であれば、月経中であれ、清めの入浴前であれ、許可されている。
- イスラームの法は、あらゆる種類の穢れや汚物からの肉体的な清めを求める。なお、偶像崇拝や悪行は、精神的な穢れである。
- 信仰者は、享樂の行いの中でも、すべてにおいて死後の世界に焦点を当て、来世における利益をもたらすような良い行動をとるよう奨励されている。

لَا يُؤَاخِذُكُمُ اللَّهُ بِاللَّغْوِ فِي أَيْمَانِكُمْ وَلَكِنْ يُؤَاخِذُكُمْ بِمَا كَسَبْتُمْ فُلُوبِكُمْ وَاللَّهُ عَفُورٌ حَلِيمٌ ﴿٢٢٥﴾ لِلَّذِينَ يُؤَلُّونَ مِنْ نِسَائِهِمْ تَرَبُّصُ أَرْبَعَةِ أَشْهُرٍ فَإِنْ فَاءَ فَإِنَّ اللَّهَ عَفُورٌ رَحِيمٌ ﴿٢٢٦﴾ وَإِنْ عَزَمُوا الطَّلَاقَ فَإِنَّ اللَّهَ سَمِيعٌ عَلِيمٌ ﴿٢٢٧﴾ وَالْمُطَلَّقَاتُ يَتَرَبَّصْنَ بِأَنْفُسِهِنَّ ثَلَاثَةَ قُرُوءٍ وَلَا يَحِلُّ لَهُنَّ أَنْ يَكْتُمْنَ مَا خَلَقَ اللَّهُ فِي أَرْحَامِهِنَّ إِنْ كُنَّ يُؤْمِنُ بِاللَّهِ وَالْيَوْمِ الْآخِرِ وَيُؤْتِلُنَّ أَحَقُّ بِرَدِّهِنَّ فِي ذَلِكَ إِنْ أَرَادُوا إِصْلَاحًا وَلَهُنَّ مِثْلُ الَّذِي عَلَيْهِنَّ بِالْمَعْرُوفِ وَلِلرِّجَالِ عَلَيْهِنَّ دَرَجَةٌ وَاللَّهُ عَزِيزٌ حَكِيمٌ ﴿٢٢٨﴾ الطَّلَاقُ مَرَّتَيْنِ فَإِمْسَاكٌ بِمَعْرُوفٍ أَوْ تَسْرِيحٌ بِإِحْسَانٍ وَلَا يَحِلُّ لَكُمُ أَنْ تَأْخُذُوا بِمَاءٍ أَنْتُمْ مَوْهِنٌ شَيْئًا إِلَّا أَنْ يَخَافَا أَلَّا يُقِيمَا حُدُودَ اللَّهِ فَإِنْ خِفْتُمْ أَلَّا يُقِيمَا حُدُودَ اللَّهِ فَلَا جُنَاحَ عَلَيْهِمَا فِيمَا افْتَدَتْ بِهِ تِلْكَ حُدُودُ اللَّهِ فَلَا تَعْتَدُوهَا وَمَنْ يَتَعَدَّ حُدُودَ اللَّهِ فَأُولَئِكَ هُمُ الظَّالِمُونَ ﴿٢٢٩﴾ فَإِنْ طَلَقَهَا فَلَا تَحِلُّ لَهُ مِنْ بَعْدِ حَتَّى تَنْكِحَ زَوْجًا غَيْرَهُ فَإِنْ طَلَقَهَا فَلَا جُنَاحَ عَلَيْهِمَا أَنْ يَتَرَاجَعَا إِنْ ظَنَّا أَنْ يُقِيمَا حُدُودَ اللَّهِ وَتِلْكَ حُدُودُ اللَّهِ يُبَيِّنُهَا لِقَوْمٍ يَعْلَمُونَ ﴿٢٣٠﴾

225 アッラーは、あなた方が意図せずに「アッラーの御名に誓って正しい」、「アッラーの御名に誓って違う」などと口走って立てたそれらの誓いについて、責任を問うことはない。そうした誓いへの償いは必要ないものの、あなた方の意図的な誓いについては責任が求められる。アッラーは僕たちの罪を寛大に赦し、懲罰に急ぐことはない。

226 妻との性交をしないと誓った者には、誓いの日から4ヶ月以内の待機期間がある。もし男が誓った後になって誓いを放棄し、性交を行い、それが4ヶ月以内に起こったのであれば、アッラーはかれらを赦す。アッラーは慈悲深く、そのような誓いを放棄するための償いを定めた。

227 もしかれらが離婚を意図して誓いを守り、復縁や性交もなく4ヶ月の期間が過ぎたなら、アッラーはその離婚の誓いを聞き届ける。かれはかれらの状態と意図を熟知しており、それに報いる。

228 離婚された女たちは、離婚後3回の月経を経ずして再婚してはならない。もしアッラーと最後の日を真に信仰するならば、彼女らはアッラーが彼女らの子宮の中に創造した胎児を隠してはならない。離婚をした夫は、仲良く同居し、和解の意図を持つのであれば、待機期間中に復縁を呼びかける最初の権利を持つ。

妻は夫と同様に、公正な権利や義務を持つ。ただし、責任と離婚に関しては、男は女よりも強い権利を持つ。アッラーは全能であり、何者もかれの定めを凌駕することはできない。かれはその立法と計画において賢明なのだ。

229 夫が妻と復縁できる離婚回数は二度までである。かれが彼女と初めて離婚し、彼女と復縁し、再び彼女と離婚すれば、もう一度だけ復縁することができる。2度の離婚後、かれは彼女と結婚生活を続けつつ、良い形で同居するのであれば、彼女の権利を認め、3度目の離婚をした彼女との復縁が禁止される(次節第2章230節参照)。離婚後

しかし、女が夫の性格や外見のせいで夫に不満を抱いている見方をしているのであれば、かれらに関係のある者、またはかれらの知人に、この件を提示すべきである。もしかれらが、その夫婦には結婚の権利を全うできないと感じるならば、その女が離婚と引き換えに何かを夫に差し出しても害はない。

イスラームの法は、合法と違法の基準であり、それを逸脱してはならない。合法と違法に関してアッラーの定めた法を超える者は、アッラーの怒りと公正さにさらされ、誰であれ破滅を招き、自らを損ねている。

230 夫が彼女と3度目の離婚をした場合、彼女が有効な方法で別の男と再婚し、床入りが完了するまで彼女と再び結婚することはできない。その結婚は本物でなければならず、元夫にとって彼女を合法とするための目的だけで契約されたものであってはならない。そして2人目の夫が彼女を離婚した場合、または亡くなった場合、イスラームの法によって定められたお互いの権利を満たすことができると感じるのなら、その女と最初の夫は新たな婚姻契約とマハルにより、復縁することができる。これらの規定はアッラーの法と制限を知る者たちのために明示されている。

本諸節の功德:

- アッラーは結婚と離婚の規定を完全に明白にすることによって、人々は合法および不法な制限を知り、これらの制限を超えないようにしなければならない。
- アッラーは結婚を重大事とされて、それで遊ぶようなことは禁止された。何回も離婚することは禁じられ、同一人物と再婚するのも二度までとされた。ただし、他の男性と結婚して離婚されるか、死別していれば別である。
- 結婚生活において、夫婦は互いに良く接しなければならない。これが不可能な場合は、離婚をしても差支えはない。夫婦のどちらかがそれを要求することが可能である。

وَإِذَا طَلَّقْتُمُ النِّسَاءَ فَبِأَنَّ أَجَلَهُنَّ فَأَمْسِكُوهُنَّ بِمَعْرُوفٍ
 أَوْ سَرِّحُوهُنَّ بِمَعْرُوفٍ وَلَا تَمْسِكُوهُنَّ ضِرَارًا لِّتَعْتَدُوا وَمَنْ
 يَفْعَلْ ذَلِكَ فَقَدْ ظَلَمَ نَفْسَهُ وَلَا تَتَّخِذُوا آيَاتِ اللَّهِ هُزُوًا
 وَأَذْكُرُوا نِعْمَتَ اللَّهِ عَلَيْكُمْ وَمَا أَنْزَلَ عَلَيْكُمْ مِنَ الْكِتَابِ وَالْحِكْمَةِ
 لِيُعْظِمَكُمْ بِهِ وَاتَّقُوا اللَّهَ وَأَعْمُوا أَنَّ اللَّهَ بِكُلِّ شَيْءٍ عَلِيمٌ ﴿٣٦﴾ وَإِذَا
 طَلَّقْتُمُ النِّسَاءَ فَبِأَنَّ أَجَلَهُنَّ فَلَا تَعْضُلُوهُنَّ أَنْ يَنْكِحْنَ
 أَزْوَاجَهُنَّ إِذَا تَرَضَوْا بَيْنَهُمْ بِالْمَعْرُوفِ ذَلِكَ يُوعِظُ بِهِ مَنْ كَانَ
 مِنْكُمْ يُؤْمِنُ بِاللَّهِ وَالْيَوْمِ الْآخِرِ ذَلِكَ أَرْكَى لَكُمْ وَأَطْهَرُ وَاللَّهُ
 يَعْلَمُ وَأَنْتُمْ لَا تَعْلَمُونَ ﴿٣٧﴾ وَالْوَالِدَاتُ يُرْضَعْنَ أَوْلَادَهُنَّ حَوْلَيْنِ
 كَامِلَيْنِ لِمَنْ أَرَادَ أَنْ يُتِمَّ الرَّضَاعَ وَعَلَى الْمَوْلُودِ لَهُ رِزْقُهُنَّ
 وَكِسْوَتُهُنَّ بِالْمَعْرُوفِ لَا تُكْفَى نَفْسٌ إِلَّا أَوْسَعَهَا إِلَّا نَضَاءَ
 وَالِدَةٍ يُؤَلِّدُهَا وَلَا مَوْلُودٌ لَهُ يُولَدُهَا وَعَلَى الْوَارِثِ مِثْلُ ذَلِكَ فَإِنْ
 أَرَادَ فِصَالًا عَنِ تَرَاضٍ مِنْهُمَا وَتَشَاوُرٍ فَلَا جُنَاحَ عَلَيْهِمَا وَإِنْ
 أَرَدْتُمْ أَنْ تُسْتَرْضِعُوا أَوْلَادَكُمْ فَلَا جُنَاحَ عَلَيْكُمْ إِذَا سَلَّمْتُمْ مَا
 آتَيْتُم بِالْمَعْرُوفِ وَاتَّقُوا اللَّهَ وَأَعْمُوا أَنَّ اللَّهَ بِمَا تَعْمَلُونَ بَصِيرٌ ﴿٣٨﴾

③⑥ 女と離婚し、彼女らの待機期間が終わりに近づくと、あなた方には彼女らと復縁するか、または彼女らの待機期間が終わるまで、親切に彼女らから別れる権利がある。イスラム以前の時代の悪しき慣習のように、彼女らを抑圧し害を加えるために彼女らと復縁してはならない。誰であれ、彼女らに危害を加えることを目的として行動する者は、自らを罪と罰にさらし、損ねている。アッラーの言葉を嘲笑の対象にしてはならない。アッラーがあなた方に授けた恩寵を忘れてはならない。その中でも最も重要なものは、あなた方がクルアーンとスンナという形で受けた啓示であり、それを通してかれはあなた方を励まし警告するのだ。アッラーの指示を果たし、禁止を避けることによってアッラーを畏れよ。アッラーは全知であり、かれから隠されたものは何もないことを知るのだ。かれはあなた方の行いに応じて報いる。

③⑦ 女との離婚が3回未満で待機期間が終了したとき、彼女らが希望する場合は、新たな結婚契約によって女が以前の夫と復縁するのを妨げてはならない。それを妨げることを禁じる法は、アッラーと最後の日を信じる者たちへの訓戒である。あなたが従うならば、これはあなた方により良い恩恵をもたらし、名誉と行いを不純のない状態に保つ。アッラーは問題の現実と結果について知り尽くしているが、あなた方は知らない。

③⑧ 母乳期間の全うを希望する母親は、満2年間、子供を授乳すべきである。子供の父親である夫には、イスラムの法に反しない限りにおいて社会の慣習に従い、母乳で育児をしている離婚した母親の食料や衣服を負担する責任がある。誰であれ、自分にできることを超えるような負担を課されることはない。

他人に損害を与える手段として子供を利用することは、いかなる親にも許可されていない。父親が何の資産も残さずに死去した場合、相続者(子供が財産を残して亡くなった場合は子供から相続する者)が、父親と同じ義務を負う。

2年を終える前に両親が子供を離乳させることを決心した場合、それが子供にとって最善の利益であるという十分な協議と合意の後に行われれば、かれらに罪はない。子供のため、母親の代わりに乳母を雇いたいのであれば、乳母と合意した賃金を不足や遅延なしに支払う限り、罪はない。アッラーの指示を守り、禁じられたことを避けることによってアッラーを意識するのだ。かれはあなた方の行いに応じて報奨を与える。

本諸節の功德:

- 夫が妻と同居したくない場合、彼女に害を及ぼす意図と共に結婚生活を続けることは禁じられている。それは抑圧に過ぎない行為である。
- たとえ女性が離婚していても、イスラム法は子供を養育する母親の権利を確保した。この場合、夫には、彼女が自分の子供を養育している限り、彼女の生活費を提供することが要求される。
- アッラーは、夫婦が互いに損害を与えるための手段として自分の子供を利用することを禁じている。
- 結婚生活に関連するすべての事柄は、夫婦間の協議と合意に基づくことが奨励される。

وَالَّذِينَ يَتُوفُونَ مِنْكُمْ وَيَدْرُونَ أَرْوَاجِيَّتَ بَصْنِ بِأَنْفُسِهِنَّ
 أَرْبَعَةَ أَشْهُرٍ وَعَشْرًا فَإِذَا بَلَغْنَ أَجَلَهُنَّ فَلَا جُنَاحَ عَلَيْكُمْ
 فِي مَا فَعَلْنَ فِي أَنْفُسِهِنَّ بِالْمَعْرُوفِ وَاللَّهُ يَمَاتَعْمَلُونَ خَيْرٌ
 ﴿٢١٦﴾ وَلَا جُنَاحَ عَلَيْكُمْ فِي مَا عَرَضْتُمْ بِهِ مِنْ خِطْبَةِ النِّسَاءِ
 أَوْ أَكْنَنْتُمْ فِي أَنْفُسِكُمْ عَلِمَ اللَّهُ أَنَّكُمْ سَتَذْكُرُونَهُنَّ
 وَلَكِنْ لَا تُوَاعِدُوهُنَّ سِرًّا إِلَّا أَنْ تَقُولُوا قَوْلًا مَعْرُوفًا
 وَلَا تَعْزَمُوا عُقْدَةَ النِّكَاحِ حَتَّىٰ يَبْلُغَ الْكِتَابَ أَجَلَهُ
 وَعَلِمُوا أَنَّ اللَّهَ يَعْلَمُ مَا فِي أَنْفُسِكُمْ فَاحْذَرُوهُ وَعَامُوا
 أَنَّ اللَّهَ غَفُورٌ حَلِيمٌ ﴿٢١٧﴾ لَا جُنَاحَ عَلَيْكُمْ إِنْ طَلَقْتُمُ النِّسَاءَ
 مَا لَمْ تَمْسُوهُنَّ أَوْ تَفْرِضُوا لَهُنَّ فَرِيضَةً وَمَتَّعُوهُنَّ عَلَى
 الْمَوْسَعِ قَدْرَهُ وَعَلَى الْمُقْتَرِدِ قَدْرُهُ مَتَاعًا بِالْمَعْرُوفِ حَقًّا عَلَى
 الْمُحْسِنِينَ ﴿٢١٨﴾ وَإِنْ طَلَقْتُمُوهُنَّ مِنْ قَبْلِ أَنْ تَمْسُوهُنَّ وَقَدْ
 فَرَضْتُمْ لَهُنَّ فَرِيضَةً فِنْصَفْ مَا فَرَضْتُمْ إِلَّا أَنْ يَعْفُونَ
 أَوْ يَعْفُوا الَّذِي بِيَدِهِ عُقْدَةُ النِّكَاحِ وَأَنْ تَعْفُوا أَقْرَبُ لِلتَّقْوَىٰ
 وَلَا تَنْسُوا الْفَضْلَ بَيْنَكُمْ إِنْ اللَّهُ يَمَاتَعْمَلُونَ بِصِيرٌ ﴿٢١٩﴾

❶誰かが他界し、妊娠していない妻を後にした場合、そのような女は4ヵ月と10日の間、独身のまま待つ必要がある。その間、彼女は夫の家を離れたり、自身を美化したり、結婚したりしてはならない。この期間が終了したら、待機期間中に禁じられていた行為を、社会的慣習やイスラームの法に受け入れられる方法で行う限り、その後見人に罪はない。アッラーはあなた方の行為を知り尽くしている。あなた方の私的または公的な行動は、何一つとしてアッラーから隠されてはいない。そして**かれ**はそれらに基づいてあなた方に報いる。

❷離婚後や夫の死後、まだ待機期間中の女に結婚を申し出たいというあなたの願望を示唆したとしても、あなたに罪はない。たとえば、「あなたの待機期間が終わるのを教えてほしい」と言うことができる。または、あなた方がこの願望を隠しておいても罪はない。アッラーはあなた方が結婚への強い願望により、彼女らに言及することを知っている。それで**かれ**はあなた方が掛けに言及することなく示唆することを許された。

彼女らの待機期間中、密かに彼女らと結婚を約束しないよう注意するのだ。しかし、あなたは許容できる方法で彼女らに示唆を与えることができるが、待機期間中に婚姻契約を確定してはならない。

アッラーはあなた方の心中にあるものを知り尽くしている。それゆえ、**かれ**を意識し、指示に反してはならない。アッラーは、悔悟する者を赦すことを知るのだ。そして**かれ**は寛容であり、懲罰を急がない。

❸あなた方が彼女らと性的関係を持つ前に、そして彼女らにマハル(婚資)を与える前に、彼女らと離婚しても、あなた方に罪はない。そのような状況で彼女らと離婚しなければならないなら、彼女らにはあなた方からのマハルを受け取る権利はない。しかし、彼女らの気持ちを楽にするために、彼女らが喜ぶものを与えなければならない。これは可能な範囲内で、裕福な者と貧しい者の双方によってなされなければならない。この贈り物は、自らの行為ややり取りにおいて善を成したいと願う者たちにとっての務めである。

❹結婚したばかりの妻と性交をする前に離婚し、すでにマハルの額を決めていたなら、夫が全額の支払いを望まない限り、もしくは妻がこの権利を放棄しない限り、マハルの半額を払わなければならない。あなたの権利を放棄することは、より畏敬の念に近い。権利の問題で、親切と思いやりを互いに示すことを忘れてはならない。アッラーはあなた方の行いを見ているため、**かれ**の報奨を得るための最善の努力をせよ。

本諸節の功德:

- 未亡人に対しては、自らを美化することも、結婚することもできない4ヵ月と10日間の待機期間が定められている。
- 信仰者はアッラーから見られていることを知っている。このことは、信仰者がアッラーを意識し、かれの法に背くことを阻止する。
- 配偶者や親戚同士の付き合いは、赦しと寛大さに基づき、正しく行われるべきである。

حَافِظُوا عَلَى الصَّلَوَاتِ وَالصَّلَاةِ الْوُسْطَىٰ وَقُومُوا لِلَّهِ
 قَانِتِينَ ﴿١٦٧﴾ فَإِنْ خِفْتُمْ فَرِجًا لَا أَرُكِبَانَا فَإِذَا آَمَنْتُمْ
 فَأَذْكُرُوا لِلَّهِ كَمَا عَلَّمَكُمْ مَا لَمْ تَكُونُوا تَعْلَمُونَ
 ﴿١٦٨﴾ وَالَّذِينَ يَتَّقُونَ مِنكُمُ وَيَذَرُونَ أَزْوَاجًا
 وَصِيَّةً لِأَزْوَاجِهِم مَّتَعًا إِلَى الْحَوْلِ غَيْرِ إِخْرَاجٍ فَإِنْ
 خَرَجْنَ فَلَا جُنَاحَ عَلَيْكُمْ فِي مَا فَعَلْنَ فِي أَنْفُسِهِنَّ
 مِن مَّعْرُوفٍ وَاللَّهُ عَزِيزٌ حَكِيمٌ ﴿١٦٩﴾ وَالْمُطَلَّقَاتُ مَتَّعٌ
 بِالْمَعْرُوفِ حَقًّا عَلَى الْمُتَّقِينَ ﴿١٧٠﴾ كَذَلِكَ يَبَيِّنُ
 اللَّهُ لَكُمْ آيَاتِهِ لَعَلَّكُمْ تَعْقِلُونَ ﴿١٧١﴾ أَلَمْ تَرَ
 إِلَى الَّذِينَ خَرَجُوا مِن دِيَارِهِمْ وَهُمْ أُلُوفٌ حَذَرَ الْمَوْتِ
 فَقَالَ لَهُمُ اللَّهُ مُوتُوا ثُمَّ أَحْيَاهُمْ إِنَّ رَبَّ لَذُو فَضْلٍ
 عَلَى النَّاسِ وَلَكِنَّ أَكْثَرَ النَّاسِ لَا يَشْكُرُونَ ﴿١٧٢﴾
 وَقَتَلُوا فِي سَبِيلِ اللَّهِ وَعَلِمُوا أَنَّ اللَّهَ سَمِيعٌ عَلِيمٌ ﴿١٧٣﴾ مَنْ
 ذَا الَّذِي يُقْرِضُ اللَّهَ قَرْضًا حَسَنًا فَيُضْعِفُهُ لَهُ أَصْعَافًا
 كَثِيرَةً وَاللَّهُ يَقْبِضُ وَيَبْصُطُ وَإِلَيْهِ تُرْجَعُونَ ﴿١٧٤﴾

①67 アッラーが指示した通り、それらを完全に成就させ、あなた方の礼拝を、特にその中間のもの(アスル)を守るのだ。そして服従と献身をもってアッラーの御前に立つのである。

①68 あなた方が敵からの危険、またはその他の危険に直面しており、完全な礼拝をすることができないならば、歩行中もしくはラクダ・馬に乗りながら礼拝をせよ。危険がなくなったならば、あらゆる形式の唱念によってアッラーを思い起こすのだ。その一つが、あなた方が以前は知らなかった光や導きを **かれ** が教えてくれたような、完全なかたちでの礼拝である。

①69 妻を残して亡くなった者たちに関しては、彼女たちが1年間の扶養を受けられるよう、遺言を残さなければならず、相続人は彼女たちを除外してはならない。これは、彼女たちが被った損失の補填と、故人の尊重が目的である。彼女らが自身の選択によってその年の終わりまでに家を出るならば、彼女らが美化することにおいては、あなた方にも彼女たちにも罪はない。アッラーは全能であり、何者も **かれ** を圧倒することはできない。**かれ** は計画と立法において賢明である。

大半の注釈学者の見解としては、この節で言及される決まりは、次の節によって無効となったとされていることに注意すべきである。「誰かが亡くなり、妊娠していない妻を後にした場合、そのような女は4ヶ月と10日の間待つ必要がある。」(第2章234節)

①70 離婚した女に対しては、衣服や金銭などを贈与すべきである。これは、離婚に伴う感情的苦痛を補うためである。そうした贈与は、夫の財政状態と合致しなければならない。それは、アッラーの指示を守り、禁じられたことを避けようとする、アッラーを意識する者たちにとっての義務である。

①71 信仰者たちよ、アッラーは **かれ** の制限と法を含むこれらの諸節を、信仰者たちがそれを理解し実践できるよう、また現世と来世の善を達成できるよう、解き明かす。

①72 預言者よ、あなたは伝染病などの理由から、死を恐れて自分の家を後にした大量の者たちについて知らないのか。

これはイスラエーイルの集団を指している。アッラーはかれらに死ぬように言い、かれらはそれに従い死んだ。それからアッラーはかれらを生き返らせ、すべては **かれ** の手中にあること、そしていかなる恩恵や害悪であれ、自分たちでは管理できないことを示した。アッラーは慈悲深く、人々に恩恵を授けるが、多くの者たちは **かれ** の好意に感謝しない。

①73 信仰者たちよ、アッラーの敵と戦うのだ。 **かれ** の道を支持し、その御言葉を称揚するのだ。アッラーはあなた方の発言を聞き届け、意図や行いも知っており、それに応じて報いることを知るのだ。

①74 誰であれ、善き意図を持って進んで貸し手となり、アッラーの道のため自らの財産を費やす者は、それが何倍にも増えて帰ってくる。アッラーはその英知と正義に基いて、糧や健康を減らしもするし、増やしもする。来世において、あなた方は独りで **かれ** の御許へ戻り、行いに応じて報奨が与えられるのだ。

本諸節の功德:

- これらの諸節では、人々が礼拝を守り、それを成立させるすべての条件を満たすことによってそれらを完全な形で行うことが奨励されている。それが困難な状況においては、略式で礼拝をすることもできる。
- 僕たちに対するアッラーの慈悲は明白である。かれはその啓示を、僕たちに完璧な方法で説明するからである。
- アッラーは時には、僕たちの糧を減らして試練を与え、また時には糧を増やして試練を与える。かれは、その絶対的な英知に基づき、それらすべてを行う。

أَلَمْ تَرَ إِلَى الْمَلِإِ مِنْ بَنِي إِسْرَائِيلَ مِنْ بَعْدِ مُوسَى إِذْ
 قَالُوا لِنَبِيِّهِمْ لَهُمْ بَعَثْنَا مَلِكًا نَقْتُلُكَ فِي سَبِيلِ اللَّهِ
 قَالِ هَلْ عَسَيْتُمْ إِنْ كُتِبَ عَلَيْكُمُ الْقِتَالُ أَلَّا تُقَاتِلُوا
 قَالُوا وَمَا لَنَا أَلَّا نُقَاتِلَ فِي سَبِيلِ اللَّهِ وَقَدْ أُخْرِجْنَا
 مِنْ دِيَارِنَا وَأَبْنَاءِنَا فَلَمَّا كُتِبَ عَلَيْهِمُ الْقِتَالُ تَوَلَّوْا
 إِلَّا قَلِيلًا مِّنْهُمْ وَاللَّهُ عَلِيمٌ بِالظَّالِمِينَ ﴿٢٤٦﴾ وَقَالَ لَهُمْ
 نَبِيُّهُمْ إِنَّ اللَّهَ قَدْ بَعَثَ لَكُمْ طَالُوتَ مَلِكًا
 قَالُوا أَنَّى يَكُونُ لَهُ الْمُلْكُ عَلَيْنَا وَنَحْنُ أَحَقُّ
 بِالْمُلْكِ مِنْهُ وَلَمْ يُؤْتَ سَعَةً مِنَ الْمَالِ قَالَ إِنَّ ابْنَ اللَّهِ
 أَصْطَفَاهُ عَلَيْكُمْ وَزَادَهُ بَسْطَةً فِي الْعِلْمِ وَالْجِسْمِ
 وَاللَّهُ يُؤْتِي مَلِكَهُ مَن يَشَاءُ وَاللَّهُ وَاسِعٌ عَلِيمٌ ﴿٢٤٧﴾
 وَقَالَ لَهُمْ نَبِيُّهُمْ إِنَّ آيَةَ مُلْكِهِ أَنْ يَأْتِيَكُمُ
 التَّابُوتُ فِيهِ سَكِينَةٌ مِّن رَّبِّكُمْ وَبَقِيَّةٌ مِّمَّا
 تَرَكَ آءَالُ مُوسَىٰ وَآلُ هَارُونَ تَحْمِلُهُ الْمَلَائِكَةُ
 إِنَّ فِي ذَلِكَ لَآيَةً لِّكُم إِنْ كُنْتُمْ مُّؤْمِنِينَ ﴿٢٤٨﴾

246 預言者よ、ムーサーの時代の後、イスラエルの貴族たちが、預言者へこう言ったことを知らないのか。「私たちのために王を遣わしてください。私たちはかれと一緒にアッラーの道において戦うでしょう」。その預言者はこう答えた。「たとえアッラーが闘うことを義務としても、あなた方は戦わない。」かれらはそれを頑なに否定し、主張した。「私たちがアッラーの道において戦わないということなどありませんか。敵は私たちを故郷から追いやり、私たちの子供を捕虜として奪い去っていったというのに。」

それでも、アッラーがかれらに戦闘を義務として負わせるようになると、少数の者を除き、ほぼ全員が背を向けた。アッラーは約束を破り、指示に背いた悪人たちを知っている。そしてかれは、かれらの行為に応じてかれらに報いる。

247 また、預言者はかれらにこう言った。「アッラーはあなた方の王としてタールトを遣わした。あなた方はかれの下で戦わねばならない」。指導者たちはそれに反対して言った。「私たちの方が、かれよりも王権に相応しい。かれには王の血筋がなく、人々を支配できるような財産もないではないか。」預言者は、かれらにこう言った。「アッラーはあなた方の中からかれを選び出し、かれに大きな知識と体力を授けたのだ。アッラーはご自身の英知と慈悲に基づいて、御望みの者には誰であれ王権を授ける。アッラーは寛大であり、かれが御望みなら誰にでも授与される。かれはご自身の被造物のうち、どれが最も相応しいかを知っているのである」。

248 預言者は、かれらにこう言った。「かれがあなた方の王として真に選ばれたことの印として、アッラーにより静謐がもたらされる。それは、イスラエルの民によって敬われていた静謐であった。その中には、あなた方の主による安らぎと、杖や銘板といった、ムーサーとハールーンの一族の遺物が収められている。あなた方が真の信仰者であるならば、そこには明確な印があるのだ。」

本諸節の功德:

- 本諸節では、人々を導くための指導者の資格として最も重要な特質が示されている。それはつまり、人々を導くための知識とそれにおける強さである。
- 人々を導く指導者は、人々の言葉に欺かれぬように導き、またかれらの行動も確認すべきである。
- 時に、他者を裁くために人々によって用いられる規則は、アッラーによって用いられるものとは異なるものである。

فَلَمَّا فَصَلَ طَالُوتُ بِالْجُنُودِ قَالَ إِنَّ اللَّهَ مُبْتَلِيكُمْ
 بِنَهَرٍ فَمَنْ شَرِبَ مِنْهُ فَلَيْسَ مِنِّي وَمَنْ لَمْ يَطْعَمْهُ
 فَإِنَّهُ مِنِّي إِلَّا مَنِ اغْتَرَفَ غُرْفَةً بِيَدِهِ فَشَرِبُوا مِنْهُ
 إِلَّا قَلِيلًا مِنْهُمْ فَلَمَّا جَاوَزَهُ هُوَ وَالَّذِينَ آمَنُوا
 مَعَهُ وَقَالُوا لَا طَاقَةَ لَنَا الْيَوْمَ بِجَالُوتَ وَجُنُودِهِ
 قَالَ الَّذِينَ يَظُنُّونَ أَنَّهُم مُّكَلَّفُوا اللَّهَ كَمَنْ فَعَتْ
 قَلِيلَةً عَلَبْتَ فَعَتْ كَثِيرَةً يَا ذَنبَ اللَّهِ وَاللَّهِ مَعَ
 الصَّادِقِينَ ﴿٢٤٩﴾ وَلَمَّا بَرَزُوا لِجَالُوتَ وَجُنُودِهِ قَالُوا
 رَبَّنَا أَفْرِغْ عَلَيْنَا صَبْرًا وَثَبِّتْ أَقْدَامَنَا وَانصُرْنَا
 عَلَى الْقَوْمِ الْكَافِرِينَ ﴿٢٥٠﴾ فَهَزَمُوهُمْ بِإِذْنِ اللَّهِ
 وَقَتَلَ دَاوُدُ جَالُوتَ وَءَاتَاهُ اللَّهُ الْمُلْكَ
 وَالْحِكْمَةَ وَعَلَّمَهُ مِمَّا يَشَاءُ وَلَوْلَا دَفْعُ اللَّهِ النَّاسَ
 بَعْضَهُم بِبَعْضٍ لَفَسَدَتِ الْأَرْضُ وَلَٰكِنَّ اللَّهَ ذُو
 فَضْلٍ عَلَى الْعَالَمِينَ ﴿٢٥١﴾ تِلْكَ آيَاتُ اللَّهِ نَتْلُوهَا
 عَلَيْكَ بِالْحَقِّ وَإِنَّكَ لَمِنَ الْمُرْسَلِينَ ﴿٢٥٢﴾

249 タールートはかれの軍勢と共に出発する際、かれらに言った。「アッラーは川によってあなた方を試されるだろう。そこから飲む者は、私の道の者ではないし、私と戦闘に加わってはならない。そこから飲まない者は、私の道の者であり、私と戦闘に参加するだろう。ただし一掬いの水だけなら、それは許される。」しかし、かれらが川にたどり着くと、極端な喉の渇きにもかかわらず、それを耐え忍んだのは少数の者たちだけで、残りのすべての戦士たちは水を飲んだ。そしてタールートが信仰者たちと川を渡った後、何人かの戦士たちはこう言った。「私たちは今日、ジャールートとその軍勢と戦うことはできません。」復活の日に、アッラーに会うと確信していた者たちは、かれらにこう言った。「これまで幾度も、少数の信仰者の軍勢が、アッラーの許可と援助によって、多数の不信仰者の軍勢を打ち破っているのだ。勝利は信仰心に基づいており、数ではない。アッラーは僕たちのうち、忍耐強い者たちと共にいるのだ。かれがかれらを援助し、勝利を与える。」

250 かれらがジャールートとその軍勢に立ち向かうために出発したとき、かれらはアッラーに祈りを捧げて言った。「私たちの主よ、私たちの心に忍耐をお与えください。そして私たちが敵の目前で逃亡したり、勇気を失ったりしないように、私たちの足取りを確固たるものにしてください。そして不信仰者たちに対する援助をお授けください。」

251 そしてかれらはアッラーの御許しにより、敵を打ち負かした。アッラーの預言者ダーウードは、かれらの指導者ジャールートを殺し、アッラーはかれに王位を授けて預言者とし、その御意により、現世と来世において有益な多種の知識をかれに教えた。アッラーの秩序により、人々が悪を互いに抑制し合うように仕向けられなかったならば、悪人が権威を持ち、地上には腐敗が広まっただろう。しかし、アッラーは被造物のすべてに恩恵を授けている。

252 預言者よ、これらはあなたに朗誦されたアッラーの明確なるしるしであり、真実の物語と公正な法が含まれている。あなたは全世界の主が遣わした使徒の一人なのである。

本諸節の功德:

- 英知ある指導者は、忍耐強い者とそうでない者を区別するため、軍に様々な試練を受けさせるべきである。
- 勝利の達成においては、数と準備だけでなく、アッラーからの助けと支援こそが重要な役割を果たす。
- 試練と苦難の時には、アッラーへの信仰において心が確信によって満たされている者たちだけが忍耐し続ける。
- 戦時などにおいて、誠実な心と謙虚さをもってアッラーに祈願することは、祈りの答えを得るための確実な方法である。
- 人々が抑制し合い、地上の悪や腐敗を退けるのは、アッラーの秩序と英知によるものである。